

島だより 第二週

嘘

みなさま

こちら船長です。秋風立ち初める頃でしょうか。
コラム島2週めのお題は「嘘」。
49作品もの作品ラッシュに沸きました。

全作品リストと投票結果、ベスト15作品とそれについて
コメント、そして全作品講評の「まじょコメント」です。
Webから落としたので、キレイなレイアウトでなくてご
めんなさい。島の活気を感じていただければ幸いです。

次のお題は「インターネット」です。ただいま44作品に
て大ディスカッション中。結果をお楽しみに。

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載バ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

テーマ：嘘

投票総数：182件

順位	ポイント	投票数	作品タイトル	作成者	作者コメント	コメント数
1位	58	28	パパは公園で一人でお昼を食べる	ばっは	無	40
2位	28	13	金の斧	鬼 おん	無	42
3位	22	8	天保年間嘘八百	やまのかめさん	無	16
	20	10	東京電力からのお知らせ	忠犬ヤス公	無	21
	17	9	拝啓、姉上様	Asagi	無	16
	15	7	偽りの中心で、ただ一つ	kiku	有	17
	15	8	エイプリルフール	茜	無	20
	14	7	西東京都大会決勝	Tohma	無	16
	13	6	君の嘘	RincO	無	23
	12	5	正しい世界	ペピン	無	15
	12	4	天狗	zoo	無	16
	10	6	虚飾症。	鞆鞆	無	24
	10	4	嘘も小便、三段跳び	木星/dx	無	26
	10	4	花屋の恋	Begonian	有	14
	10	5	変わりゆくもの	colt	無	14
	7	4	嘘をついた日	赤ずきん	無	15
	6	4	指切り拳万	ルムルフ	無	14
	6	3	嘘をつく理由、つかない理由	カケラ	無	14
	6	3	ある春の日に	地紅晴酸	無	12
	6	4	穢れなき嘘は炎の中に消え.....	一分間	無	12
	5	2	嘘をついた少年のお話	弟子	無	11
	5	2	虚空の国のアリス Alice in hollow heaven	RiZEL	無	12
	5	3	なにもかも	神無月	無	19
	5	3	千羽鶴	He	無	21
	5	3	ついても良い嘘	key	無	14
	5	3	うそつき	橘	無	18

5	2	910号室の8人	ゆーべる	無	24
4	2	嘘は文化？	Perseus	無	15
4	2	待つ雪草	さむらす	無	12
4	2	今日、私は	結政	無	12
4	3	再会	八剣	無	21
3	1	未必の故意	vicky	無	10
2	1	優しい嘘	オリポリ	無	12
2	2	かくれんぼ	Alice	無	11
2	1	ベストセラーは心の中に	イッパイアッテナ	無	11
1	1	どれが本当に真実なのか・・・ある少女の証言	ルンタッタ～	無	16
1	1	嘘だって言って	わがし	無	11
1	1	かの地震を受けて	Eisen	無	13
1	1	けむり	ラ	無	15
1	1	クライマックスはまだ先の話	朱雀	無	12
1	1	論理パズル(正直者と嘘つきの兄弟編)	きしと	無	14
1	1	純情マゾヒスト	ふじさき	無	13
1	1	叫び	あそびにん LV.2 1	無	10
0	0	嘘ゲーム	mendel	無	15
0	0	嘘つき	エスィフィア	無	11
0	0	真実と嘘	きばみん	無	25
0	0	夢 = 嘘	モデナ	無	19
0	0	ウソつき男に悩む男	のろろ	無	13
0	0	嘘をつかずに嘘をつくこと	jabberwock	無	15

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

パパは公園で一人でお昼を食べる

総合順位：1位
合計ポイント：58 Point
作者：ばっは
作者コメントはありません。

「パパはどうしてお昼を公園で食べてるの」
曇りなき眼を持つ娘が、可愛さあまりある笑顔で私に聞いてきた。

「パパはね、ビタミンDが不足しているんだよ」
私は二年前から用意していた台詞をノータイムで返した。

「じゃあ、パパはどうしていつも重い本を持って会社に行くの」
娘の連続コンボが始まりました。

「それはね、仕事に向かってこんにちはって英語で言うためだよ」
突然の攻撃に意味不明な返ししかできません。

「凄い、パパ英語好きなんだ。でもどうして、パパは、夜はママじゃない女の人と一緒にいるの」
瞬殺コンボの完成です。

「あれは、パパの死に別れたと思っていた義理の妹だよ」
昨日の木曜サスペンス劇場が役に立ちました。起死回生の回避方法です。

「でも、あの人フィリピン人だよ」
これは、もう詰んでいるのか！？

「パパもフィリピン人の血を引いているんだよ」
きっと東南系がまじってます。

「昨日、ママが緑色の紙にパパへのお手紙だって言って書いていたよ」
キミハスベテノコトヲシッテイルノデスカ

「ママはどんなことを書いていたんだい」

「わかんないけど、ハンコ押してたよ」
ガッテム！もう手遅れか。この娘だけでも手放すわけにはいかない。

「ママとパパどっちが好きだい」

「ママも好きだけど新しいパパのほうがもっと好き」

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
kiku 8/27 10:47	> パパは、夜はママじゃない女の人と一緒にいるの ヒモになっちゃった！ テンポ良くていい感じです。オチもありきたりながら笑わせてもらいました。
わがし 8/27 12:35	あああー、面白かった！ とってもいいと思います。 読み出したらとまらなくなりました。 ともかく、面白い！ 楽しませていただきました。
ペピン 8/27 13:27	タイトル良いよね。キャストもいい。抜群です。完璧なので私ごときが発言する必要は無いでしょう。 重い本のところがよく分かんなかったけど・・・
忠犬ヤス公 8/27 17:54	どうして娘はあの人フィリピン人であることを知っているのでしょうか？考えたら寒気がしてきました。
きしと 8/27 22:22	娘...恐ろしい子！
結政 8/28 9:39	> でも、あの人フィリピン人だよね 知ってるよこの子。 このあたりの娘の言動の黒さがすごいなあと。 テンポがよく、落ちも斜め上に行くすばらしい作品だと思いました
key 8/28 13:56	はらぐるっ 確実に詰んでいます。国土無双です。 最初の本ってパパが公園で暇つぶしに読む分厚い本という意味でしょうか？ それともフロムA的なもの？ あ、でも英語だから辞書？？？あれ？？？
茜 8/28 14:1	・・・うわあ、娘、怖っ。 ここでちゃんと「新しいお父さん」ってのがいる辺り、母も母な気がしてなりません。
あそびにん LV.2 1 8/28 16:16	これ、テンポといい、会話に挟まれるパパの一言といい、娘のキャラといい.....最後の返答も秀逸だと思う。ママも不倫してるのまでは予想ついたけど...まさか、こういう落ちになるとは、やるな。 他の人も言ってるけど、フィリピン人だと分かる娘はすごい...多分、全ての意味を分かって知らない振りをしてる恐ろしい子。こういう子が、きっと企業の裏参謀になるのさ！ 重い本は、あそびにんは辞書だと思った...けど、日本語どうせ知ってるよなあ。一体、何だったんだろう。とりあえず、パパにとっては知られて困ることなのだけは確かかな。
木星/dx 8/28 19:29	暇つぶし以上にはならないけれど、暇つぶしにもってこいの面白さ、とはいえるかも。
さむらす 8/28 19:56	こんな子供いやだ。
pencha 8/28 22:29	読み終わってからどんどん内容が分かってきて益々おもしろく感じました。 タイトルに惹かれてこの文章を読んだのですが、楽しく読ませていただきました。

カサカサ 8/28 22:43	ノリノリな『古い』パパと黒すぎる娘のテンポの良い問答に完全にやられた。これはこれは、秀逸なネタ作品を見せていただきました。
カケラ 8/28 22:50	重い本は、「仕事に向かってこんにちはって英語で言うためだよ」というパパの回答から察するに、ハロー（こんにちは）ワーク（仕事）、要するに職安関連ってことで、求人誌のことじゃないかなって思ったけどどうかな。 タイトルがすごく生きてます。 >重い本 娘を引き取るために勉強している法律書と解釈しました。 この家族、二年間もよく持ったもんです。
kiku 8/29 0:8	>カサカサさん ああっ！ すげー納得。Hello Work!（Hello World! みたいですがヤダ）でも分厚い求人誌ってどんなのだろう。見てみ...たくない。
Asagi 8/29 2:52	婚姻届は、茶色。離婚届は、緑色。 きっと新しいパパへのお手紙も書いていたんでしょうね。茶色いのを。
Eisen 8/29 6:12	痛快！
鬼 おん 8/29 11:44	子供に罪はない...と思ったらこの娘確信犯じゃないか。 っていうか両親もひでえやつだな。 パパも自業自得だし、まあそれが面白いんだけどw
ヤンヤンマ 8/29 14:23	>「凄い、パパ英語好きなんだ。でもどうして、パパは、夜はママじゃない女の人と一緒にいるの」 この流れでこんな質問をしてくる娘って何者？（笑）
無味 8/29 22:14	すげえ子供だ...
zoo 8/29 23:1	重い本って何？ これがどうしてもわからなかった。 いくらなんでも娘知りすぎでしょう。 流れるようなテンポが良かった。
あそびにん LV.2 1 8/30 20:55	>Hello Work! ああ、なるほど。そんな言葉遊びだったのか。 ただ、別に不倫しているからといって転職する必要もない気ががが・・・。 >ヤンヤンマさん 改めて読み直すと、絶対この娘母親に台本でももらってやってるんじゃないかとか思い始めてきた。この脈絡のなさは、きっと無理にでも台本に戻そうとしているからに違いない！ 子供の記憶力ってすごいからねえ。きっとこれくらいの台本くらい覚えることは出来るさ！
mendel 8/30 22:34	>あそびにんさん 多分パパは二年前にリストラされてるんです。 転職じゃないんです、きっと（涙 パパの嘘が連発して、最後の最後でママの隠し事炸裂。 そして、娘は全てを知っていたかのような.....。 「嘘」ってテーマをふんだんに使ってると思います。 面白い。凄く面白いです。
きばみん 8/30 23:16	無垢な口調でブラックな発言をする娘、いい感じで好きです。 というか、一家、離婚してもこのそれなりに良い感じで落ち着きそうな感じだ。
イッパイアッテナ 8/31 2:0	えっと、えっと、パパの生き別れた義理の妹に、”あの人フィリピン人だよ”という返しが来ても、 別に、”義理”だから焦る必要ない気が。 とりあえず、おとんがフィリピン人の血が混じっている必要はないと思う。

あそびにん LV.2 1 8/31 15:10	<p>> mendelさん ああ、そっか.....って、読み込み甘いのばればれだなあ。 お昼を公園で食べたのはリストラされたからか。あ、納得納得。 その状態で不倫する余裕があるのもすごい気がするけど、きっと逃避したかったんだね、パパ。</p> <p>> イッパイアッテナさん ああまあうん、確かに。 義妹は...ママの妹か、パパの弟の嫁さんか、親が再婚した時の連れ子で可能性全部？ ああ、親の養子もありえるか。 とすると、弟が居ないとか、親にフィリピン系がいないとかで簡単には打ち消せないからバッチグーだと。</p>
で~もん 8/31 16:38	<p>ナイステンポ、さすがネタ師ですね(何</p> <p>重い本のくだりが浮いているので、もっと他のネタを仕込めたら完璧な出来になってたかな~とか厳しいことを言ってみます。</p>
茜 8/31 17:41	<p>> パパは公園で一人でお昼を食べる 題名がリストラされましたって叫んでいたの、分厚い本は求人誌と信じて疑いませんでした。 でも、ハローワークは思いつきませんでした。なるほどー。</p> <p>> あそさん。アッテナさん。 嘘をついてて焦ってたんだと思います。つまり娘のことばは罖。って、この娘どこまで策士なの。 あと、浮気が問題になって会社クビになった、ってのもありかと。</p> <p>なんていうか、さむらすさんのことばに全てが集約されて居るような気がしてなりません。</p>
神無月 9/1 21:26	<p>面白いなあ。これ。いや、大好きです。こういうの。 いや、過不足ないですね。オチも決まってるし、流れでもしっかり笑わせてくれるし。 「これはもう詰んでいるのか!？」で笑った。 おしむらくは「ガッテム」。「ガッデム」です。Goddamと書く。気になってしまって、意識がそちらへ集中してしまい、オチの破壊力が薄れてしまいました。ギャグ系は、一度疑問を持たせたら危ういので、お気をつけください。</p>
ふじさき 9/1 21:45	<p>まさに痛快なストーリー。面白かったです。 ただし、痛：快の比が8:2くらいな気も・・・？</p>
赤ずきん 9/1 22:21	<p>怖いよー。娘黒いよー。だがそれがいい(えー)</p>
He 9/2 14:26	<p>なんとなく、赤ずきんにしてやられた狼みたいな印象。(注：童話の話で、ペンネームじゃないですよ?)</p>
老若男女 9/2 20:43	<p>おもしろい。テンポも言いし、オチもしっかりしてると思った</p>
colt 9/2 23:24	<p>ちくしょう、笑いました。 この娘は、ママの差し金と予想。ママ・新しいパパとグルなのだよ！ 無職なのに、夜は『シャッチョサン』。これもある意味嘘ですかね。</p>
こっくん 9/2 23:46	<p>最後の子どもの一言が効いてます。面白かったです。</p>
Tohma 9/3 1:17	<p>素晴らしいネタです。ただこんな策士な娘は持ちたくないです。</p>
blue-orange 9/3 1:54	<p>いやあ、将来こうはなりたくないですね(笑)</p>
aki 9/3 3:5	<p>娘のブツ飛んだボケを、ほとんど受けきるパパのツッコミの多彩さに脱帽です。</p>
袋小路 9/3 5:11	<p>純粹無垢な子供のように、タイミング的に他意があると思えないですね。 おもしろく読ませてもらいました。</p>
にび 9/3 5:43	<p>最後の2行の空白がそれまでのリズムを壊すと同時に父親のショックさを際立たせているように面白かったです。多分真っ白になってるんだろうなあ。 今見返すとタイトルが娘目線なのも全てを知ってるのに残酷な感じで良いですね。</p>

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

[コンテスト会](#)

[コラム掲載ペ](#)

[コラムアーカ](#)

[プロフィール](#)

[自己プロフィ](#)

[BBS](#)

[まじょコメン](#)

金の斧

総合順位：2位
合計ポイント：28 Point
作者：鬼 おん
作者コメントはありません。

「大変なものを落としてしまいました」

『そうですか。私が拾ってあげましょう』

「ありがとうございます」

.....

『あなたが落としたのはこの金の斧ですか？』

「はい、そうです」

『嘘ですよね？』

「はい、嘘です」

『それではあなたが落としたのはこの銀の斧ですか？』

「はい、そうです」

『嘘ですよね？』

「はい、嘘です」

『それではあなたが落としたものは何ですか？』

「私が落としたのは、単位です」

『嘘ですよね？』

「いいえ、嘘ではありません」

『正直者のあなたにはこの金の斧と銀の斧を差し上げましょう』

「単位くれよ」

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
kiku 8/27 11:0	両者淡々としててシュールだ。 しかし大学生の最後の声が密かに悲痛でならない。 俺も単位落としました、ええ。
わがし 8/27 12:39	笑いました。いいと思います。 悲痛な叫びが聞こえます。 うちの研究室の学生も、実はこうなのかも知れません。
ペピン 8/27 13:43	単位を一つも落とさない私には「別に」っていうかんじがしないでもない。大学生じゃないといまいち作品の世界に浸れない気がする。 気になったのはわがしさんの発言が教授っぽいんですが、教授の方ですかね？
忠犬ヤス公 8/27 18:15	教授に「どうしたら単位くれますか？」って聞いたら 「じゃ勉強して」って言われたことを思い出しました。(関係ない!?) 淡々としたリズムでのこのやりとり、とっても読みやすかったです。
わがし 8/27 21:33	ペピンさんへ いえ、ひとこと付け加えますと、 教授では、ありません。が、 教授室のようなところには、います。 しかし、Drはもっていません。さて、誰でしょう(笑ってー)
結政 8/27 22:30	助教の方もDrはお持ちなので おそらく、掲示板の書き込みなどから 秘書さんとか、事務員あたりの方ではないかと推測しています。 何で単位って落とすんですかね？ 普通にやれば来るとは思いますけど。(一度も落としてないので) とか、調子に乗ったことをいってみる。 コラム的には、シュールギャグで とても面白かったと思います。
key 8/27 22:36	単位が大学の単位だと気付くのになすごく時間がかかってしまった。 キログラムとかの方の単位だと思った...orz 面白かったです。シュールだけ
やまのかめさん 8/28 12:32	「単位」が出てきたところで頭の中に？が飛び交ってしまいました.....コメント読むまでピンときませんでした..... と、この場では少数派かもしれませんが、一応自己主張しておきます(苦笑)
茜 8/28 13:45	単位を落とす理由.....ううっ。思い出したくない。 最後の突っ込みに思わずくすり。まあ、大学生ならではですよね。
木星/dx 8/28 19:14	「シュール」って言葉がかわいそうに思えたり・・・ 「おふざけ」の方がよさげ。
さむらす 8/28 19:22	おもしろいですねえ。この島のネタ系のコラムではじめておもしろいとおもった。 単位おとしすぎて、このコラム笑えないという人がいたりしてw
エスイフィア 8/28 21:57	淡々としてるところが笑えます。最後の一言でしっかり落ちてますね。面白いです。
pencha 8/28 22:23	ストーリーの流れと締めがおもしろかったです。単位...!

<p>イッパイアッテナ 8/28 23:35</p>	<p>大切なものを落としてしまいました。 で、水没したカリオストロ城をイメージした人は多いはず。 いやぁ、面白い。これこそ、講義コラム!?</p>
<p>オリボリ 8/29 3:35</p>	<p>テンポがよく、シユールで面白い。 笑いました。 確かに金、銀の斧より単位が欲しい...</p>
<p>Eisen 8/29 6:16</p>	<p>切実だなぁ.....涙がちょちょ切れませぬ。 ここはひとつ、二本の斧を賄賂として袖の下に。 入らないか。</p>
<p>木星/dx 8/29 6:47</p>	<p>んでも、ある意味内輪ものですね。学生+ちょっと前まで学生だった人の占める割合の高いコミュニティにしか受けないだろうと思われませぬ。</p>
<p>作者より一言 8/29 11:17</p>	<p>正直こんなにコメントが伸びると思ってませぬでした。 金の斧をネタにしようと思ったところ、僕の中では「落とすもの=単位」という認識しかなかったの・・・。 単位に苦しむ学生とその理解者は全国で100万人くらい余裕でいるだろ、と軽く考えてましたが意外と皆さん単位取れてるんですね</p>
<p>ヤンヤンマ 8/29 14:17</p>	<p>最後の2行が切実ですね。 「私が落とした～」 『嘘ですよ？』の流れもいいです。</p>
<p>RiZEL 8/29 17:20</p>	<p>爆笑。しかし切実。 本当に欲しい物は自分で取るしかないってことですかね・・・。</p>
<p>木星/dx 8/29 21:22</p>	<p>内輪ネタではないものの、内輪「系」といえるでしょう。全国に100万人くらいの理解者はいるでしょうけど、「100万人」というのをそのままの絶対数として捉えていいのかどうかということです。つまり例えば、理系にしかうけないような書き方の作品があったとします。「金の斧」もその系列。理解者に偏りが出る「小さな」表現だと思います。</p>
<p>無味 8/29 22:16</p>	<p>こういうの好きです。 淡々としつつ、フツと笑えるやつ。</p>
<p>さむらす 8/29 22:28</p>	<p>内輪かそうでないかって、そんなに重要なのかな？おもしろいか、つまらないかの問題にくらべたらどうでもいい気がするが、 それにしても、落とすものといったら単位しか思い浮かばないってのはなんともかなしい。</p>
<p>木星/dx 8/29 23:18</p>	<p>気にならなならいいんじゃないですか。 自分は気になるから、<表現が小さい つまらん>となるわけ。 頭で考えてそうなるというよりも、生理的・直感的な感じ。</p>
<p>あそびにん LV.2 1 8/30 17:5</p>	<p>大学生って単位ネタ好きねえ（自分は？） 『～ですか？』 「そうです」 『嘘ですよ？』 「嘘です」 繰り返しはギャグの基本。テンポもいいと思う。 たださむらすさん同様、落とすもの=単位はなんだか悲しい。ここではこの方が受けるのは確実だけど。 >イッパイアッテナさん >カリオストロ城をイメージした人 ノ</p>
<p>えむえむ 8/31 2:6</p>	<p>確かに金銀より単位くれよ。笑えたけど笑えない事実を抱える自分。</p>

melonsan 8/31 12:53	<p>百万人ということについて： 日本語を解する人で、ある程度は教養のある人を無作為に集めたとき、多くの人がそれぞれの感じ方で面白いと思える。 そんな文章を目指す標語であると私は捉えています。</p> <p>この作品に必要な予備知識は、「ほとんど誰もが知っている類のもの」ではないと思います。</p> <p>作品自体は笑えておもしろかったですよ。</p>
イッパイアッテナ 8/31 17:57	<p>単位くれよ。という落ちは、大学に入って単位制の講義を受けたことがある人であれば、ふつうに理解できる落ちだと思います。</p> <p>大学に入ったことがある人の数は、いわゆる100万人コードで対象とする人数を超えていると思っていいでしょう。 だから、必要な予備知識としては十分だと私は思うのですが。</p>
Alice 8/31 20:5	<p>思わず吹いてしまいました。 そしてなんで私は共感できるんだろう・・・</p>
鞆 9/1 8:41	<p>シュールです。笑いました。</p> <p>笑えません。でも笑いました。</p> <p>だって、笑うしかないじゃないですか。</p>
八剣 9/1 9:2	<p>金の斧と銀の斧より単位が欲しいなら、なぜ嘘をついたのだろうか。 個人的には無計画に単位をとって平均点を下げちゃったので、そんなにほしいかな、という感じ。</p>
木星/dx 9/1 11:49	<p>> 単位くれよ。という落ち 例えば、何十年も前に卒業した人や、そもそも大学なんて行ってない人等にとっては、仮に理解はできたとしても、心にピンと響かないわけです。だから、内輪ネタとはいえないものの、内輪系</p> <p>> 百万人 melonsanの言われているのが正解と思います。単なる絶対数ではなく、象徴としての絶対数かと。</p>
木星/dx 9/1 12:14	<p>(連続御免)</p> <p>だから逆に、表現したいものによっては「1万人でもやむなし」ということもあるかと思いますが。但し、あくまでも感性に訴えた結果としてのやむを得ない読者の選別。一方、理系文系とか、年齢・職業等でウケ方が偏ってしまうのは、読み手にとってどうしようもないところでの選別が最初からされているから、伸びしろが少なそう=大きな可能性を感じない=表現のスケールが小さい、みたいな。</p>
ふじさき 9/1 21:22	<p>短い文章なのに、纏まっているのが秀逸。</p> <p>「単位くれよ」のツッコミは賛否両論あるようだけど...うん。すごくツボでした。</p>
赤ずきん 9/1 22:18	<p>最後の質問にも「はい、嘘です」って答えたかった……。切ない……。 淡々とした空気感が好き。</p>
さむらす 9/1 22:38	<p>大学にちかくない人でもこの話はたのしめるとおもいますよ。 ぼくは単位とかあんま気にしない人ですが、こう考える気持ちは理解できますし、まあ、なんにせよ、ネタ系のコラムにこういう冷静な議論は合わないかと思う。</p>
老若男女 9/2 20:41	<p>内輪ネタだとは思わないけど、大学生が好きそうなネタだなって思った。</p>
colt 9/2 22:58	<p>単位は落とすものです、そりゃあもうぼろぼろと(遠い目)</p> <p>なによりも、テンポがいいですね。英語直訳チックと言いますか。棒読みの合成音声で、脳内再生されました。</p>
blue-orange 9/3 1:53	<p>とても共感できました(笑)</p>
きしと 9/3 2:21	<p>淡々としていて、最後のツッコミが冷静かつ切実 思わず笑ってしまいました</p>
aki 9/3 2:23	<p>終始一定のリズムにのせられて、オチがつぼに入りました。 天井の使い方がうまいなあ。</p>

袋小路
9/3 5:36

せっかく夏休みで忘れてたのに...酷いです。

[TOP^](#)

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

天保年間嘘八百

総合順位：3位
合計ポイント：22 Point
作者：やまのかめさん
作者コメントはありません。

天保年間の頃である。一つの流行があった。ある人の名前を書いたお札を胸に寺社に詣で、社殿又は本尊に対し嘘を述べる、これを八百度繰り返すことによって、その人にその嘘を信じ込ませることができるというのである。当時の上野寛永寺の様子を僧が日記に記している。

「多くの町方が門から本堂までをうろうろ歩いている。皆うつむき加減によそよそしい。本堂にて何を呟いているのかと耳をそばだててみれば、どれもこれも奇っ怪である。向島の越前屋次郎兵衛は『俺はもう酒呑まねえから俺はもう酒呑まねえから』と繰り返しておるし、町奉行遠山左衛門尉は『俺は博打はしていない俺は博打はしていない』と繰り返している。これが噂の八百度参りか」

しかしこの流行は長くは続かなかったようである。記録にはないが、風俗の乱れを見るに見かねたか、奉行の取締りでもあったようである。奉行様も八百度参りしていたのではないかと町人に詰め寄られる遠山金四郎の姿が当時の講談に見られる。

しかしこの流行は消滅したのではなく、形を変えて存続したようである。ある人の身体の一部、典型的には毛髪を藁人形に仕込み、丑の刻の頃に神社へ行き、嘘をつきながら神木にその藁人形を五寸釘で打ち付ける、これを八百夜に渡って繰り返すことによって、その人にその嘘を信じ込ませることができるというのである。当時の神田明神の宮司がその光景を目撃している。

「丑二つの時刻、社殿の裏より金属を打ち付ける音が聞こえてきた。不審に感じ、寝所から出て様子を窺ってみる。見れば白装束の男が今にも泣きそうな顔をしながら『俺は浮気はしていない俺は浮気はしていない』と悲鳴のような声を繰り返しているが、悲鳴を上げたいのはこちらの方である。まことに奇っ怪と言うほか無い」

程無くして寺社奉行に於いて『神木への釘打が目にも余り云々』なる審議が確認できることから、これも相当に流行したようである。余談ながら、丑の刻はそれまで「ひろのこく」と読まれていたものがこれ以降「うしのこく」と読まれるようになる。これはこの時期、この時刻のことを嘘の刻(うそのこく)と称したものが訛ったことによるという説がある。

閑話休題。いずれにしても、この丑の刻参りもあまり長くは続かなかったようである。前述したように、寺社奉行としても看過するわけにはいかなかったのであろう。

その後しばらく、これら流行の様相を知る資料がない。しかし弘化へ改元される頃に、商人たちの間で類似した流行があったようである。本当につきたい嘘を紙にしたためて懐に秘め、何か他の適当な嘘を記した紙を町の家々の軒下に貼り付けていく、一晩に八百軒に貼り付けることができれば懐の嘘を無事つき通すことができるだろう、というものである。この流行はどうやら浅草界限に限定されたようで、他の町衆からは笑い物となったようである。関連して次のような落首が伝えられている。

麗しき花のお江戸のお膝元
上野浅草嘘八百屋

当時上方より江戸へ下っていた大坂屋黒兵衛は、滞在中に嘘の貼り紙に悩まされたらしく、呆れた様子で町の様子を日記に残している。同時にこの落首に似た歌を書き残しているが、微妙に異なる。

煩しき花のお江戸のお品書き
どれもどさくさ嘘八百や

という。これは嘘八百という言葉が使われた最初の事例である。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
結政 8/28 10:20	嘘八百の語源のお話として、大変によく調べてあってとても素晴らしいと思いましたがその紹介だけに終わっているのが残念です。というか、そのまま流しているのではないかとの印象もあります。特に、「資料が無い」と言い切っている部分などはまさにそう調べ上げられるわけが無いので余計にそう思ってしまう。もしそうで無いなら大変に申し訳ないのですが・・・。 構成などは非常によく、見せ方も非常に良いと思いました。
茜 8/28 14:6	「浮気はしていない」なんて嘘が時代にそぐわなくて良いですね。あーおもしろかった。・・・いや、いくらなんでもこれ史実じゃないでしょ。
結政 8/28 20:57	え？ あ、これ自身が嘘って事ですか。やられました。ネタとして読むと面白いですね。確かに。失礼しました。
カケラ 8/29 0:20	面白いです。この文体をきれいに書ける力に脱帽しました。
あそびにん LV.2 1 8/30 17:28	これ本当だったら逆に面白いかも。越前屋次郎兵衛とか、細かい名前があるから余計に嘘っぽさUP！ 僧が、近所ならまだしも、そこまで見て分かるわけ無いじゃんとか。大体、八百回って、1日1回だとしても2年以上かかるよ？ これだけの嘘をすーっとつき続けられた筆者に拍手。素直に面白かった。
mendel 8/30 21:32	フィクションだとは思いますが.....、確かに逆に事実だったら凄い！いや、このままでも充分面白いですが。短歌が上手！「浅草」と「どさくさ」をわざわざ韻を踏ませている辺りが、私なんかではとても思いつかない。
イッパイアッテナ 8/31 1:6	すごい。 この一語に尽きる。 いや、これ嘘だろうと睨んだ箇所を調べれば調べるほどに、背後関係に矛盾が浮かばないという。(まあ、適当に調べているからだけど) さいごの、短歌が二つともうまい。(もしかして、お茶の作者?)
イッパイアッテナ 8/31 1:12	あっ、ちなみに、本当じゃないと思います。 遠山左衛門尉って、遠山の金さんだし(汗

<p>イッパイアッテナ 8/31 1:17</p>	<p>(連続レスごめん。) >金さんじゃない理由 えっと、天保年間だから時代的にはおかしくないんだけど、北町(たぶん上野)と南町(金さんの奉行所)の場所が違うんじゃないかなあっと。(まだ、調べて裏付けしてませんが。すまん) (直感的に否定してしまった感はあるかな)</p>
<p>kiku 8/31 8:12</p>	<p>あー、フィクションだったんだコレ。全く気付かずに流し読みして放置してた。凄い。</p>
<p>木星/dx 8/31 9:23</p>	<p>検索したらこんなのが出てきました。</p> <p>【明治時代の実在の人物「八百屋(脚注)の長兵衛」通称「八百長」さんが、相撲の年寄の伊勢海五太夫さんとの囲碁の手合わせで勝敗が常に五分になるように心がけていたことから、なれあい勝負することを八百長というようになったといわれます】</p> <p>ここから「嘘八百」につながったらしい。</p> <p>で、作品の方ですが、舞台設定等に惑わされないように読むと、フィクションとしての出来は.....ちょっと微妙かな。お百度参りや丑の刻参りと絡めただけで、切れ味に欠ける。肝心の「なぜ八百なのか?」というのがわからないし、最初の事例が町人の日記というのも、もっともらしいようで、何か地味。フィクションなんだし、歴史上の人物や史実なんかを使って、もっと大胆にいつてもよかったような気もする。個々のエピソードや歌はちょっと楽しい。</p>
<p>ほろほろ 8/31 14:54</p>	<p>語り口調としての話のテンポの良さに素晴らしい才能を感じます。講釈師業界では、しばしばその真実性や文学性よりも、その場の「うまい事言った感」が最優先されますよね。その意味でも実に講釈師っぽい！この作者さんは、将来講釈師になったらどうかね？</p>
<p>colt 9/2 23:50</p>	<p>この嘘吐きが！と読みながらニヤニヤ。このうさんくささがたまりません。清水義範さん(僕の大好きな作家さんです)の短編にもどこか通じる、大真面目な顔で大嘘をかますこの清清しさ、本当に素晴らしいです。いちいち引用の文章が面白いのも、最高です。 おみごと。</p> <p>>木星/dxさん これ以上大げさにやると、おもしろくないかと。この、嘘か本当かわからない(嘘っぽさはところどころでそれとなく滲ませてるけど)感じが、この作品の持ち味だと思います。</p>
<p>こっくん 9/2 23:51</p>	<p>歌物語風の文章を現代風に再現できる文章力はすごいと思います。語り口もお見事でした。</p>
<p>木星/dx 9/3 2:2</p>	<p>皆さんの (コメントの略。旧コラムランドで流行)を読んで、ああそういう読み方もあるかなと。</p> <p>文体については、どっかで見たことあるような感じはするけど(だから衝撃は少ないけど)、天の邪鬼的な巧さがありますね。</p>
<p>忠犬ヤス公 9/3 2:42</p>	<p>コメント読むまで嘘って気がつきませんでした。本当に騙されました。あ〜くやしい。そして作者にアッパレ</p>

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

東京電力からのお知らせ

合計ポイント：20 Point
作者：忠犬ヤス公
作者コメントはありません。

新潟県中越沖地震で柏崎刈羽原子力発電所が全面停止し、電力の供給余力が少なくなっている東京電力は22日、同日午前の最大電力（電力需要）の伸びが予想を超え、自社の供給力を上回る恐れが出てきたとし、「随時調整契約」を結んでいる一人暮らしの大学生に対し、午後から電気の使用抑制を求めると発表し、多くの大学生が帰省した。緊急時だけ使用が認められている栃木県の自転車発電所（人力）も午後1時過ぎに稼働させた。同発電所では苦学生ら約千人がアルバイトとして緊急招集された。

東電は22日朝、同日の最大電力を、東京の最高気温が35度になった場合は6100万キロワットになると想定。これに対し6250万キロワットの供給力を準備していた。ところが、午前10時台に最高気温は35度を突破。最大電力も10時台の平均が5942万キロワットに達した。気温が1度上がれば最大電力が170万キロワット増えるため、供給能力を超える可能性が出てきた。東電は肥満者の外出は極力避けるよう呼びかけている。そのため日本相撲協会から2場所出場停止処分を受けた横綱・朝青龍も墨田区の自宅から外出できないでいるもよう。

参考文献

<http://www.asahi.com/life/update/0822/TKY200708220099.html?ref=goo>

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
わがし 8/27 12:28	こーいうの、好きです。 内容云々ではなく、面白いと思います。 タイトルでひきつけられました。

key 8/27 22:57	笑いました。 面白かった！ 私もこういうの好きです。
結政 8/28 9:43	私は笑えませんでした。 もっと原文をつぶさないと..... > 気温が1度上がれば最大電力が170万キロワット増えるため のあたりとか、そのままなので、数値をいじるとか 全然関係の無いことを言うてしまうとかしないと ネタとしての完成度は低くなってしまいます。
茜 8/28 14:0	「栃木県の自転車発電所(人力)」なんかがあったら面白いなあ、と。 外出はしたほうがいいんじゃないですか？家の冷房消費が減って。.....あ、そーい う突っ込みはたぶんしちゃだめなのか。
pencha 8/28 22:45	東電&朝青龍というタイムリーなニュース。 この2つはとくに関連性の無いと考えられているが、 それらを繋げて新聞調にまとめている点、とてもおもしろかったです。
鬼 おん 8/29 11:36	これはいい。 多少強引だがそれも込みで面白い。 評価されるべき。
ヤンヤンマ 8/29 13:50	> 「栃木県の自転車発電所(人力)」 東電がそんなアナログ(笑) そもそも電気の抑制のために帰省って... 面白い。
melonsan 8/29 14:18	「嘘ニュース」系ですね。面白い。 タイトルで想像がついたので、意表をつかれはしませんでした。 つけていれば、私はもっと楽しめたでしょう。
RiZEL 8/29 17:52	吹きました。いいですね。 ただTV観ない人間にとって、時事ネタはいまいち分かりにくい部分も...って、これは 僕が悪いんでしょうね、きっと。 面白かったです。
無味 8/29 22:23	大好きです。 一人で吹いちゃいました。
lily 8/30 16:6	ただの転載？と思ったけどよく読むと...
あそびにん LV.2 1 8/30 19:47	嘘ニュースって、レイアウトが元に似せてあれば似せてあるほど面白い気がするけど、 ネットのニュースサイトに似せてもそんなにインパクトないもんだなと思った、そんなに 笑えなかった人。あそびにん的にはネタ不足かな、とか。 自転車発電所のバイト代ってどれくらいなのかなあ？
きばみん 8/30 23:11	こういう作品好きですね。 うっかり信じてしまいそうなくらい、サラッと書いてあるのがなんとも... 思わず声を上げて笑ってしまいましたよ。(笑
さむらす 8/30 23:57	なんで参考文献までのところにこんなに余白とったんでしょうか？ 反省エネかな？
えむえむ 8/31 14:45	おもしろかったです。元ネタとあわせて見ればなお良し。
ほろほろ 8/31 15:3	くだらなくてイイなあ！ 自転車発電で苦学生がこぎまくってるところは 画を想像して思わず吹いちゃいました。
神無月 9/1 21:36	頭の良いアホって大好き。こういうコンセプトが好きです。肥満者の外出を控える意味 が、本当にあると思っているのか！ こんなバイトがあったら是非したいと思っております。
Eisen 9/2 1:38	多くの事実のなかに、少しの嘘をしのばせるのが「正しい嘘のつき方」だといいますが。 それとはまた違った意味で、とても上手いと思いました。
モデナ 9/2 3:36	ホントにくだらないけど面白いですね... なかなかいい作品だと思います。

aki 9/3 3:1	参考文献見ると本物には続きがあったんですね。 嘘ニュースの続きも見なかった...
赤ずきん 9/3 5:54	そっか、じゃあ朝青龍もしょうがないよね！（えー） 参考文献までに空白があきすぎていて、大オチがあるのかと期待してしまった。

[TOPへ](#)

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

拝啓、姉上様

合計ポイント：17 Point
作者：Asagi
作者コメントはありません。

海の向こうから、とろりとした風が吹いて、
この街もまた、夏祭りの季節です。

来た道をふり返るひまもなく、月日が過ぎていきます。
あれからわたしは、嘘をつくことばかり、うまくなりました。

最近、姉さんの友達と会いました。いろんなことを、教えてくれました。
それから、ごめんなさい、ごめんなさいと言いながら、泣いていました。

港のほうから、花火の音が聞こえます。窓から、ちょっとだけ見えました。
今年のお祭りも、みんなで行く約束をしました。だから今から、待ちあわせです。

姉さんと私が同い年になったということは、今でもやっぱり、信じられません。
あのころの姉さんはいつもわたしの憧れだったのに、わたしは今も子供のままです。

あのころのあなたはきっと、今のわたしの何百倍何千倍ものことを考えていて、
心の中にはまるで嵐のように、激しい風が吹き荒れていたのでしょうか。

姉さん。あれからわたしは、心にぽっかり穴が開いたまま、嘘をつくことばかり、
何も考えないでいることばかり、うまくなりました。

それでも

これだけの月日がたって、わたしはやっと、あなたと向き合いたいと思いました。
悲しむでもなく、懐かしむでもなく、追いかけるのでも、振り返るのでもなく。

あのころのあなたが、どんなことを考えていたか、何を思っていたのか、
今のわたしなら、前よりもすこし、わかるような気がしたから。

だから。

姉さん。
今年は、あなたの浴衣を着ます。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
結政 8/28 10:14	落とし方が光ると思いました。 何があったのかは、私はおそらく自殺だと思うのですが そのあたりを読者の想像に任せる点もうまいなあと思いました。 最後にこんなこと書いてなんです 題名で、一休さんを想像したのは私だけでしょうか？
Begonian 8/28 10:31	いいですね。こういうの。 レイアウトも非常に綺麗です。 以下個人の好み。 ・とろり ……。 わからなくはないです。 ・嵐のように 全体の雰囲気と合わせて、やわらかい表現で荒れっぷりを見せて欲しかったかな。 油膜が海面に豊かな色彩を広げたよう、とか？嘘です。
イッパイアッテナ 8/28 11:39	最後の浴衣が秀逸。 心に激しい風が吹き荒れていたってという箇所が少しわからなかった。とりあえず、姉が自殺したってという設定ならばちょっと違うかなあとおもう。 しかし、落とし方が上手いなあ。
茜 8/28 13:59	題名で「拝啓、父上様」を思い出しました。母が見てたなあ、あのドラマ。 姉の友達が謝るって、何があったんでしょう。自殺、だとしても、彼女の中でお姉さんがこんなに「憧れの人」だった理由が分からない。そんな人が、なぜ？ 全体的な雰囲気と、最後の締めは好きなので、そこをもうちょっとうまく表せると、すっきりまとまったと思います。
あそびにん LV.2 1 8/28 17:32	あそびにんは、姉さんはいじめにあって自殺して、友だちは助けてあげられなくてごめんなさいかなとか思った。 でも、それだと思っていたことが分かるような気がするって、わたしまで軽くいじめにあってることになってしまふんだよね……う～ん。 そもそも嘘をつくことばかりうまくなりましたって言うのがよく分からない。死んだってことが受け入れられないっていうのもないと思うし、あのころのあなたは段落を見ても別に何も考えてないでいるわけでもないと思うし。 ただ、いじめで自殺って解釈なら、嵐のように、激しい風が吹き荒れていたっていうのはしっくり来るかなとは思う。 落ちをあそびにんもすごく好き。
key 8/30 10:17	タイトルからして某ドラマのパロディだと思い込んでしまい、読むのが遅くなってしまいました。 わざとじゃないなら仕方ないけど、わざとだったらやめた方が良かったかもしれない、と個人的には思います。 最後が私も上手いと思う。 手紙っぽいので書くの難しいと思っていたけど、これはちゃんと一つの物語としてまとまっている。 次回作にも期待しています。
kiku 8/30 11:9	詳細設定はさっぱり分からないけど、雰囲気はこれだけで出てるから、特に出さなくてよかったな。すごい綺麗です。 # タイトルからして某ライトノベルのパロディだとおmごめんなさいごめんなさい。

<p>神無月 8/30 21:32</p>	<p>いいなあ、これ。とても良い文章だと思います。手紙調なのが素敵。涙が出ちゃいそうに綺麗な文章です。最後の一文が決まってる。ああ、もっと褒めたいけどボキャブラリーがない。 テーマ自体は良くあるものなんですが、それを頂も魅力的に出来るのは、演出力なんだろうなあ。筆力の違いというものを味合わされた気分です。お見事でした。</p> <p>姉さんの死因については、イジメでもいいんじゃないかと。優しい人ほど耐えられなくなるといいますし。兄妹は大抵、妹の前では良いところを見せようとしているものですし。周りから見たら弱気な自殺者だったとしても、妹から見たら優しい姉なんてのは、よくあることなんじゃないかなあ。</p>
<p>茜 8/31 1:5</p>	<p>なんとなーく、原因の一端が、妹さんのほうにあるんじゃないかな、と。そんな気がしました。むしろ、妹さんがそう思い込んでいるような。 いじめなら、気付けなかったことに責任を感じているような。 事故なら、妹さんをかばったとか、助けられなかったとか。 いえ、そんな気がしただけなんですけど。憧れの人がまさかいじめられてるなんて思わなくて助けられなくて・・・みたいな。</p>
<p>He 8/31 16:10</p>	<p>単純に雰囲気のにまれました。 語る内容はとても暗いのに、文章はきれいに、丁寧に、たんたんと。</p>
<p>やまのかめさん 9/1 13:27</p>	<p>なかなか良く雰囲気を出せていると思います。選んだ場面も雰囲気を出すのに良いですね。浴衣もいい。</p> <p>でも、「嘘」は、なんだろう？「嘘をつくことばかり、うまくなりました」とは、どういうことなのでしょう？本文から察するに、なにか特定の嘘をつき通してきたことを指しているようには読めません。いろいろ想像してみた限りでは、人や物事と正面から向き合えなかったことを、嘘をついてきた、と表現しているような気がするのですが、この場合は「嘘をつく」とは意味あいが違うような.....</p> <p>読者の想像力を喚起する書き方というのは効果的な書き方にもなります。でもこういう雰囲気の良い、しっとりと浸るような文章の場合、引っかけりの大きい目立つ箇所があったりすると、文章に入り込むのに妨げになってしまうと思うんです。この点だけは、気になりました。</p>
<p>Eisen 9/2 21:30</p>	<p>ゾクッときました。</p> <p>やわらかいのに.....鋭さというか、もろさを感じさせる文体。それが織り成す淡々とした情景、風景。 それでいて、感じさせられるのは悲痛なまでの思い。</p>
<p>茜 9/2 23:5</p>	<p>>やまのかめさん 言われて気付いた.....お題が「嘘」じゃなきゃこれでもいいんですけど、お題に対して弱いのは確かですね。</p>
<p>弟子 9/2 23:51</p>	<p>あなたのお姉さんも、きっと嘘つきだったんだ あなたのお姉さんも、きっと子供だったんだ</p> <p>子供だったんだけど、あなたの前だけ嘘をついていたんだ</p>
<p>Tohma 9/3 1:16</p>	<p>ラスト、ぞわぞわっと鳥肌がたちました。 雰囲気、展開、言葉使い、どれも好みます。</p> <p>「嘘をつくことばかり、うまくなりました。」 というのは、お姉さんと同じようにならないために、と読みました。 まだ「私」はそのとき幼かったけど、幼心にある意味賢く生きることを知ったのではないかと。 それでも同じ年になって浴衣を着ようと思う気持ち、強い人だな、そう感じました。</p>
<p>にび 9/3 5:27</p>	<p>最初の「とろり」の表現を見て、あ、これは読みたいと思わされました。で、読んでよかったです。</p> <p>ただ、やっぱり嘘が弱いというのは否定できなさそうですね。 「悲しむでもなく、懐かしむでもなく、追いかけるのでも、振り返るのでもなく。」 このあたりにもっと嘘としての要素が欲しかった気がします。</p>

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

偽りの中心で、ただ一つ

合計ポイント：15 Point

作者：kiku

[作者コメントを読む](#)

貴方の、名前を、教えてください。

-> "Start." /

#

プロローグが、流れる。
貴方は降り立ち、偽りの世界は予定調和の下に始まる。

#

スイッチが、入る。

「よお、
「あら、

」
じゃない」

.....貴方と、上っ面だけの会話を交わしている。それは軽口ですらない。この思考から離反している。ただ
どできるのはそんなことばかり。繰り返し、繰り返し、繰り返す。まるで歯車のように。

世界は偽り。私は人形。ただ一つ正しいのは、貴方の名前のみ。

貴方は、3対4の窓越しの写像。

「まったく、今日もいい天気だよな。暑くて死にそうだ」

「そのまま野垂れ死になさい。骨は拾ってあげるわよ」

この心は想っている。私は貴方のことが好きだ
この心は思っている。貴方は誰を選ぶのだろう

たとえ偽物でも、その想いに嘘は無い。
似ているようで、決定的に違っている。

時間は、1人だけの支配にある。

「毎年毎年俺達をこんなに苦しめやがって。あーもう、カミサマなんて一生信じねえ」

「神様なんていてもいなくても同じじゃない。.....でもアンタは自業自得。私の神様がそう言ってる」

この は知っている。私の思惑の外側の意思を
そこは、貴方と並ぶ空間。絵画の登場人物は、絵画を俯瞰できないから。貴方の世界にもデウス・エクス・

その思考のみが、私の次元の上をいく。

マキナがいるのなら、彼はきっと、4次元世界の住人なのだから。

領域は、6桁の粒子により構築。

「ひどっ！ つつましくも何一つ嘘偽り無い人生を送っ」

「嘘つくときに肩すくめるクセ直してから言いなさいっ！」

思考回路を動かす。

歯車そのものな私は、高次の視点を一つ得て、貴方と同じ場所に立っていると、錯覚する。

それは、なんて 自己欺瞞。何も知らない豚は、だからこそ満ち足りていたというのに。

聴覚は、16の仮想楽器を捉え、

「と、今日も同じやり取りを続けるのでした。まる」

「アンタ誰に話しかけてんの？ってちょっと っ！ アナタいつから後ろに！」

それでも、思考は先をいく。

この世界は偽りのもの。そこにのみ存在する私も偽りのもの。

誰にとって？ もちろん、貴方にとって。それは、貴方の認識に対して。貴方の世界に対して。

だけど、『偽り』は認識とのズレであり、『嘘』は意思とのズレである。そこに差異がある。妄想の産物でしかなかった天動説も、それは誰かにとって、確かに一つの真実だったのだ。私の世界は私を軸にして回る

ここは、確かに偽りの中心地点。そこで、私は、ただ一つの名前を縁（よすが）とし、ただ一つの想いを礎にする。唯一の事実と、唯一の真実。たとえ、それが何者かの思惑に基づくものだとしても。

視界は、3色の光に満ちている。

「じゃ、またな」

「ん。それじゃ」

貴方が去る。ここは、貴方のための世界。

だから、私はここで途切れる。そして、次を待つ。また、貴方の隣に立つ場面を。

そして、2人を別つ方形の暗幕。

スイッチが、落ちる。

#

エピローグが、流れる。

アルバムは埋まり、偽りの私は役割を終える。

#

/"Fin." ->

それでも、その想いだけは、嘘じゃなかった。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
茜 8/28 14:7	・・・・・・P C内彼女？ デウス・エクス・マキナってなにかしら？ なんというか、あたしには理解しきれなかった、という印象。解説ほしいです。
key 8/28 20:2	ほとんど理解出来ず...誰か私に読解力を！！ 逆にコンテスト終了後の作者コメントが楽しみです。 なんとなく、次のテーマを先取りしたのかな、という感じがしました。
結政 8/28 22:20	とりあえず、タグをうまく使った点には評価をしたいと思います。 レイアウトとして、メリハリの非常に聞いた文に仕上がっていると思います。 ただ、ほとんど理解不能な中身.....これではどうしようもないです 分かる方の解説をお願いします
一分間 8/28 22:50	>茜さん デウス・エクス・マキナ ってのは確か「機械仕掛けの神」つつう意味ですね。 ネットという人間の作り出した機械が、ネットという世界を支配しているということか な？ 内容が非常に意味不明。かといってそこまでやばさを感じるわけでもなし..... メンヘラ？
木星/dx 8/29 7:30	限られたタグを有効に利用しましたね。 > 貴方は、3対4の窓越しの写像。 から、 > そして、2人を別つ方形の暗幕。 に至る挿入が秀逸！ 両端のポエム化も、悪くない。 まだ読めてない部分もあると思うけど、今回のイチオシになる可能性大b u t 票は入らな そうで、同情しますw
ルンタッタ～ 8/29 20:31	偽りの私・・・。いったい自分はどこにいけばいいのだろうか？ 考えられさせます・・・
あそびにん LV.2 1 8/30 15:26	丁寧に読めばなんとなく分かる・・・ような分からないような。 多分、貴方が現実世界の人間で、私がP C内彼女で問題ないとして、スイッチって登場シ ーンが来ないと存在できないとかそういう意味だと思う。 高次の視点を得てどうのこうのがよく分からなかったかな。私が単なる登場人物の癖にこ ういう思考をしていることに対しての一文？ あと、この っるのが何なのかも。私でよかったんじゃないの？ 中身自体はそんなに目新しい気がしないけど、レイアウトとか、書き方とかが結構面白い と思った。木星さんの言う、挿入の部分も、この話の舞台というかそういうものを連想さ せていいと思う。 それにしても、この中の物語、一体どういう話なんだか。
He 8/31 19:28	レイアウトがすごい。ここまでできるんだあって。 が変数って感じで、そこだけが『貴方』によって動かされて、それ以外は、『貴方』を 離れて定められた物語を辿るだけ。そんなイメージを から受けたんだけど、それだと後 半が繋がらないか...

<p>こかみ 8/31 21:56</p>	<p>タグ使いも見事です、本文の難解な漢熟語とセリフ中のやや軽い会話の対比が印象的でした。私もあそびにんさんと同じくある程度はわかる・・・けれどもある程度でしかありません。細かい単語まで考えて作られているなら、ぜひともその意味を尋ねたいですね。</p> <p>「画面の向こうの貴方」が自分とシンクロし始めたので、今日はこのへんで勘弁してください・・・</p>
<p>melonsan 9/1 0:26</p>	<p>「6桁の粒子」ってひょっとして、256000とか480000？ だとしたら、分かってしまった。分かってしまう自分が恨めしい。 「私の思惑の外側の意思を」というのは、製作者のことですね。 ところで、こんな心が宿るなんて思ってしまったら、食い散らかせなくなるではないですか。</p>
<p>やまのかめさん 9/1 6:45</p>	<p>ああ！ やっと見えてきた！ なにをモチーフにしてどんなテーマを語ろうとしてるのかはやっと見えてきました！</p> <p>最初に読んだ時には初めの方の「3対4」からしてなんじゃらほいという気分でしたが、コメントに目を通しながら、やっと何を表現しているのかわかりました。 >領域は、6桁の粒子により構築 がまだピンと来ない所なんですけど、なんだろう。480000とかになるやつ??? だとすると、ここだけはあまりいい表現には見えないけどなあ.....「6桁の粒子」かあ.....なんだろう。</p> <p>も一つ、中盤で が一つ単独で出てくるのは の誤りなのか、意図したものなのか、計りかねています。</p> <p>でも面白い面白い！</p> <p>詩的な内面描写と舞台描写と会話とを織り交ぜていく書き方も、珍しいと言うほど珍しくはないと思うのですが、短い文章の中できっちり始まりと終わりとを書ける題材の選び方といい、内容の展開のしかたといい突き詰め方といい、よく書き切ったと思います。</p> <p>主題については.....実際のところどうなのでしょう。ありそうな主題なので、SFに詳しい人から見たらどう見えるのかなあ。でも文章の見せ方・まとめ方だけで十分高く評価したいなあ。すごいや。</p>
<p>鞆 9/1 8:38</p>	<p>でもこれって嘘ですよ。ああ、だから嘘の回の作品なんですか。</p> <p>307,200とか、480,000とか、786,432とか、なんにせよ確かに6桁ですよ。もう一個ぐらい上だと7桁になりますか？ギリギリなりませんか？</p> <p>読む上でコメントに随分助けられました。 個人的には、仮想楽器って16個なんですか、っていうのが目新しい発見。作り方が上手いと思います、いろんな意味で。</p> <p>でも伝わるんでしょうか、これ。</p>
<p>melonsan 9/1 13:13</p>	<p>付属の計算機で打ち間違えた。256000ではなくて鞆さんのおっしゃるとおり307,200ですよ。現在は480,000が主流のようです。 ところで、普通は4:3の順で書きませんか？</p> <p>「何も知らない豚」そこまで自分を卑下しなくとも...</p>
<p>やまのかめさん 9/1 13:37</p>	<p>やっぱりそういう6桁ですかね.....でも他の箇所が、「1人だけの」「16の」「3色の」と表現している中で、「6桁の粒子」って書き方は、なんか、こう、美しくないような。描写の文章の中ではここだけは気になります。せめて「幾十万の」とか「百万もの」とか.....どうでしょう？ 好みの問題でしょうか。</p> <p>> 鞆さん > でもこれって嘘ですよ。 うーん、そうなのでしょう。心が宿ってしまった上での、存在は『偽り』でもこの想いは『嘘』じゃないんだと、そういうお話だと読んでいました。この場合の『嘘』は辞書的な単に事実でないという意味ではなくて、文中で提示されている通りの「意思とのズレ」という意味で。</p>
<p>Eisen 9/2 0:50</p>	<p>放棄したくないけれど、象（かたち）を捉えるのには怖ろしく時間と精神力が要りそう、深く読むことを諦めざるを得ない文章。そんな感じです。 文字から受ける印象と構成力、そしてレイアウトの美的感覚は感嘆に値します。</p>

こっくん 9/3 0:1	レイアウトのよさは評価します。 でも文章がほとんど理解できない・・・。 あえてこういう文章は流れるように読んでいったほうがいいのか・・・？
二句 空佳 9/3 3:10	くそう、かわいいなあ！もうっ！ 恐れ入ります。 ぜひ評価されてもらいたい作品ですが、そうなればそうなたで悔しがられるのでしょ う。 メロメロです。

[TOP^](#)

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

網です！
 5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
 嘘の結果&まじょコメントは「アーカイブ」からGO。作者コメントをお早めにどうぞ。
 3日15時47分 初くるくる 到着！

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

エイプリルフル

合計ポイント：15 Point

作者：茜

[作者コメントを読む](#)

今日は、エイプリルフルですから。

普段言えない

本音とか

弱音とか

今日だけは

言ってみてもいいのかもしれない。

だって、今日は、エイプリルフルですから。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
わがし 8/27 12:23	あ、いいですね。 エイプリルフルなら、ここに、今、私の思っていること、全部書いてしまいたい、と思ってしまうました。
ペピン 8/27 12:50	本音って本当のことだからエイプリルフルに言うの変な気もしたけど、少し妄想を働かせるとなんかニヤケてしまった私。
ラ 8/27 23:26	確かに。 エイプリルフルってそんな日だったのか。 じゃあ私は、エイプリルフルには.....
茜 8/28 13:48	じゃあじゃああたしは..... これ、ほんとにエイプリルフルにやったらどーなったのかしら。

<p>あそびにん LV.2 1 8/28 18:17</p>	<p>冗談めかして嘘っぽく本音をいうことに慣れてしまっているあそびにんとしては、え、当然じゃんとか普通に受け入れてしまった。 やっぱり、嘘をついているかもしれないって土壤がある状態だと、誤魔化しやすくいいよね</p> <p>ともかく、この作品自体は、確かに！とか新鮮に感じないあそびにんとしては、そんなに感慨がわかなかつたかな。それにしても、こんなことをみんなに知らしめてしまったら、いざ本音を言ったときにばれてしまうのではないか！（八つ当たり）</p>
<p>で～もん 8/30 16:53</p>	<p>逆転の発想ですね、面白かったです。</p> <p>長文書きの多いなか、この長さで読み手にインパクトを与えられるネタ力に感動です。</p>
<p>イッパイアッテナ 8/30 19:18</p>	<p>んー、自分もそれ考えたことがあります。</p> <p>ただ、たとえばそれで愛の告白だったとして、相手からOKがメールで返ってきたとする。</p> <p>そこで、悩むわけですよ。</p> <p>まさか、これはエイプリルフルじゃあ.....</p> <p>そういうループに嵌ってしまいそうな自分は、エイプリルフルには本音は言えないなあ。なんてね。</p>
<p>きばみん 8/30 23:23</p>	<p>なるほど。そういう解釈もありですね。 ただ、本音を言って、冗談と取られるのもいやな気はするかな？</p>
<p>結政 8/30 23:42</p>	<p>コメントを読んで、あれ？そういう意味なの？とってしまう私って。 エイプリルフルでも言える訳がないとってしまうです。</p> <p>この文自身が嘘って言うことじゃないの？と思ったのですが</p>
<p>忠犬ヤス公 8/31 0:1</p>	<p>こんな発想があったのかと思わされました。純粹に良かったです。エイプリルフルに言ってみようかな・・・</p>
<p>He 8/31 16:16</p>	<p>優しく語りかけている様子がなんかいいなあと思いました。</p> <p>私としては愛の告白というよりも、一年間で溜まってしまった暗い感情をエイプリルフルという場を借りて吐き出してしまいなよ、と言われていたような印象を受けました。</p>
<p>エスィフィア 8/31 22:44</p>	<p>考えたこともなかったです。なるほど、そんなアイデアが。 とても短いのに、とても印象的でした。</p>
<p>鞆 9/1 7:14</p>	<p>「今日は、エイプリルフルですから。」というフレーズを二重に重ねている、「嘘」のお題の作品として読んで、きっと変わり者の私は思いました。「今日」ってエイプリルフルなんですか？</p>
<p>神無月 9/1 18:20</p>	<p>簡潔でよかです。面白いというか、優しい作品。 言うべきこともしっかりしてるし、過不足ない、良い作品だと思います。</p>
<p>Eisen 9/2 20:15</p>	<p>今回の作品群のなかで、ここまでハートに突き刺さったものは他にありません。</p>
<p>弟子 9/2 23:35</p>	<p>「今日はエイプリルフルではありませんよ」</p>
<p>jabberwock 9/3 1:20</p>	<p>ニュアンスって大事だね。</p>
<p>二句 空佳 9/3 2:36</p>	<p>お題が「嘘」だから意味のあるコラムですよ</p>
<p>袋小路 9/3 4:26</p>	<p>新しいとらえ方って好きです。</p>
<p>赤ずきん 9/3 5:49</p>	<p>こういうシンプルな文章は好き。 本音も嘘ってとってくれるんだから、エイプリルフルはどんどん本音を語ろう。 だって、今日はエイプリルフルですから。</p>
<p>イッパイアッテナ 9/3 13:19</p>	<p>えーーーー、ということで、作者予想はずしました。</p> <p>いや、言われてみれば、そだねえ、と納得できるんだけど...</p> <p>正直、してやられた感がたっぷりです。</p>

<p>橘 9/3 15:18</p>	<p>作者コメントを読んでから分かったんですけど、これは心の矛盾を表した作品なんですか？ エイプリルフールなら自分の心の中をさらけ出しても、矛盾してても関係なくなるんですよ？ 逆に言えば、普段は言いたいけど、言いたくない。 上手く伝えられない。 そういうことでしょうか？</p> <p>自分の気持ちが全部そのまま伝えればいいのか、そう自分は思いました。</p>
<p>さむらす 9/3 15:42</p>	<p>エイプリルフールは嘘をつく日だから、普段言ったら反応に困るようなことだっていえちゃう。相手が反応に困ってたら今日はエイプリルフールだからといってしまえばいい。ほんとは嘘じゃないんだけどね、と心の中でつぶやく。 そんなことを言いたいのだと思いました。</p> <p>それにしても普通に作者がコメントにまざってるのはすごいな。器用なお姉さんですね。</p>
<p>茜 9/3 20:44</p>	<p>わーいアツテナさんに勝ったー</p> <p>> 橘さん ホントですね。そのまま伝えればいい。 ことばにしてしまうと傷付けてしまいそうで怖いのです。でも、言わなくては伝わらないのです。厄介なものです。</p> <p>> さむらすさん わーい器用って言われたー。 講義版で真後ろの席から「これ茜作品だろ」みたいな声が聞こえているのを無視しながら議論しなきゃいけないあの状況に比べれば、ここは楽ですけどね。</p> <p>解釈は、あたしが思ったのはそんな感じです。 これを見て、エイプリルフールならこんなこと言うのに、とか考えた人がいてくれたのが、うれしかったですね。</p>

[TOPへ](#)

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

西東京都大会決勝

合計ポイント：14 Point
作者：Tohma
作者コメントはありません。

止まることのない汗が、俺の頬を伝う。
容赦なく照りつける太陽が、俺の体力を奪う。
意識が 飛びそうだ
けどまだ、倒れる訳にはいかない。

西東京都大会決勝、3 - 2の一点リードで迎えた9回の裏。
ツーアウト、満塁。
一打サヨナラのピンチ。
マウンドには七回から登板の、俺。
ネクストバッターは四番、サード。

ベタ過ぎるほどのドラマチックな展開で、球場の熱気は最高潮。どちらの側の観客席からも、叫びに近い応援が飛びかっている。

暑さと緊張によって、俺の体力は異常なまでに削られていた。だがここが正念場。あとアウト一つ。アウト一つが甲子園への切符だ。
異様な興奮が俺の体を包み込む。
でもそれは相手も同じで。あとヒット一本。ヒット一本が相手にとっての甲子園への切符なのだ。

集中。ミスは許されない。甘い球は確実ににはじき返される。相手はプロ注目のスラッガーだ。確実に、強気に、大胆に攻めなければ勝てる相手ではない。
自分の心を強く持て。夢の切符を買う最初で最後のチャンスだ。

心臓の高鳴りがグラウンド中に響きそうなくらい高まっている。

負けられない。絶対に。甲子園は俺の夢だから。

全てを、ぶつける。

ストライク！

ボール。

ファール！

ファール！

ボール。

ファール！

ファール！

ファール！

ボール。

九球終わってフルカウント。一球一球に歓声と溜息が交錯する。

相手の気持ちも生半可なものじゃない。全力で俺のボールに喰らいついてくる。四番としてのプライドが、甲子園への執念が、俺を喰らい尽くそうと迫ってくる。

だが俺もリリースエースとしてエースナンバーを背負っている。エースのプライドと、甲子園への執念で、あいつを捻じ伏せなければいけない。

意地と意地とのぶつかり合い。先に折れたほうが負ける。

全身全霊をこめての十球目。インローにストレートを捻りこむ。

カキンッ……！

レフト線に大きな打球が飛んでいく。それまで球場を支配していた応援団の声は全て消え、全員が打球の行方に目を凝らしている。選手も、監督も、観客も。そして、俺も。

打球がポール際に届くまで、時間はその静けさを楽しむかのように、とてもゆっくり俺たちの上を流れた。ゆっくり、静かに。

ファールボール！

三塁塁審が両手を頭の上で大きく左右に振った。

その合図を皮切りに、歓声と溜息が交錯し、再び球場は蒼然とした雰囲気にも包まれた。

俺は呼吸を止めていたことに気付き、大きく息を吐いた。

気持ちを切り替えなければ。さっきは完璧に捉えられてしまった。この打球のイメージが残ってはいけない。切り替えだ。

……あの金属音とともに打球がフラッシュバックされてしまう。早く切り替えなければ。でないとまた打たれてしまう。次は打ち損じないだろう。そうしたら甲子園が、俺の夢が……。

俺の……夢？

不意に周りを見渡す。

どんな打球も逃すまいと、チームメイトが構えている。ベンチからも必死に応援している。確か今日は球場に両親が見に来ているはずだ。俺だけじゃない、チームメイトの両親だって。クラスの友達も応援に来ている。話したこともないやつもいるだろう。名前を知らないやつだって応援に来ている。顔も知らないやつも応援してくれている。別の場所から応援している人もいるだろう。

甲子園が俺の夢だなんて嘘だ。

チームの勝利を願っている人、その全ての人の夢だ。

俺はただ、その代表として相手にぶつけているだけなんだ。

大丈夫、ちゃんと夢を捕ってくれる人は俺以外にもいる。後押ししてくれる人も周りにいる。

いける、今ならいける。

俺は握り締めているボールに全ての人の夢を託し、十一球目を投げ込んだ。

夢を乗せたボールは空高く打ち上げられ、チームメイトがしっかりとグラブで捕った。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
ラ 8/27 23:15	リリースエースのエースナンバー、今年の大会で優勝した高校を思い出しますね。 甲子園が皆の夢、っていうのもいいですね。 個人的な考えとしては、「西東京」という地名はないほうがすっきりしたかもしれないかと。
茜 8/28 13:42	いいですねえ、甲子園。ここまで書き込んだのなら、最後の一行、もっと工夫してほしいかったです！ 嘘というのは無理やり入れたような気もしましたが。
あそびにん LV.2 1 8/28 15:29	俺の夢ってのは別に嘘じゃない気が。 俺の夢でもあり、みんなの夢でもある。そこに矛盾はないと思うし、俺の夢でなくてみんなの夢だってことなら、なんかものすごく悲しい。 盛り上がりというか、緊張感というか、熱気というか、そういうものはびんびん伝わってきた。だけに、茜さんの言うように最後があっさり過ぎてちょっと拍子抜けかも……そうか、字数のせいかなorz 9球のところとか、他ちょこちょこ削ってでも、やっぱり最後にもう少し字数を使うべきだったと思う。
さむらす 8/28 19:55	なんかこんな話どこにでも落ちてるんじゃないかなあ。あまり個性が感じられなかった。
結政 8/28 21:3	無理やりにテーマに合わせてしまった文が浮いてしまっている印象があります。 臨場感はあるのですが、落とし方があっけないですね。 野球の試合ってそういうものですけども。
オリボリ 8/29 3:28	「俺の夢」が「嘘」という表現はあまり適当じゃない気がします。 最後にもうひと盛り上がりあったほうが良い作品になったと思います。
鬼 おん 8/29 11:51	「嘘」のコラムとしてはズレてるけど読み物としてはよかった。 改行たくさんあった後のファールのひっかけ具合がいいね。 最後にもう一押し欲しかったかも。
無味 8/29 22:9	甲子園って言うのがタイムリーでいいですね。 「嘘」ってお題にはちょっと合わないけど。
エスイフィア 8/29 22:47	嘘というテーマは霞んでしまいましたが、試合の白熱具合や緊張感がびしびし伝わってきました。行間の使い方がお上手ですね。読んでてドキドキしました。
のろろ 8/30 14:20	改行が良く考えられていて読みやすく、静かな戦いがうまく表現されていると思います。

地紅晴酸 8/30 15:30	最後の一行はないほうが良かったと思います。
神無月 8/30 21:58	あー！ あー！ あー！ 個人的に惜しい！ 最後は、「投げ込んだ」で終わらせて欲しかった。どちらも同じくらい思いは強いはずなんだから、最後は読者の想像に任せて欲しかったなあ、というのが。いや、野球の試合ってこんなもんなんですけど、だからこそ、読み物では夢というわけではないけど、自由にさせて欲しいなあ、とか思いました。 文章としては、臨場感出てて良かったです。ファールのシーンでほんとに息止めてました。僕が野球好きだからってのもあるとは思いますが、凄い面白かったです。 ただ、ファールボールで歓声って止まるのかなあ。「止まったように感じた」ならわかるけど。歓声がやんだ覚えはないかも。
ほろほろ 8/31 16:24	野球というのはいい題材なので、これからもガシガシ投稿していただきたいです。 いい題材というのは、「どうやったって面白くなるじゃん」というニヒルな見方ではなくて、「舞台と役者がそろっています！」ということ。ネタは銃にすぎず、打ち出す弾はあなた次第というわけで、作者の技量が問われますね。 今回の作品はそういった意味で野球をうまく料理してくれたと思います。 注文をつけるなら、フルカウントから話を始めたら もっと最後の勝負を書き込めたかな、と思います。 特に後半が、ちょっと展開が忙しすぎて、余韻を残す暇がなかった印象です。
こっくん 9/1 0:44	「嘘」をポジティブ(?)な意味として使用したのが新鮮でした。 文章も凝っていて、臨場感が伝わってきます。
やまのかめさん 9/1 11:4	一人称の文章では臨場感が大切だと思うんです。で、一人称、まして緊迫したマウンド上のピッチャーの胸の内として、ちょっと説明的にすぎるんじゃないかなあと感じられてしまった点がちらほら。 「ベタすぎるほどのドラマチックな展開で」とか 「相手はプロ注目のスラッガー」とか もう少し、現場にいる高校生の言葉として演出できるんじゃないでしょうか。 投げ始めて以降の臨場感がとてもいいこともあって、惜しいと思う気分が残ってしまいました。 あとは、やっぱり最後の一文、もう一工夫欲しいと思います。
えむえむ 9/3 1:44	決まったかと思ったらファールと、ついつい引きつけられてしまいました。最後の1行はなくても良かったのですが、結果はそうなったんでしょうね。

[TOPへ](#)

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

[コンテスト会](#)[コラム掲載ペ](#)[コラムアーカ](#)[プロフィール](#)[自己プロフィ](#)[BBS](#)[まじょコメン](#)

君の嘘

合計ポイント：13 Point
作者：RincO
作者コメントはありません。

君はよく嘘をつくよね
私はいつもその嘘にだまされるんだ

幼稚園のときだったかな
お弁当を忘れたって言って君がしょんぼりしてるから
私の大好きなハンバーグを君にあげた
でも私のハンバーグを食べた後に
君は自分のお弁当を出して、私にむかってあっかんべえをした
ハンバーグがなくなって泣いちゃったけど
君の満足そうな顔が不思議と私を落ち着かせた

小学4年生のとき 夏休みの初め
いきなり外国に引っ越すって 深刻そうな顔して言いに来たね
それからずっと眠れなくて
何日も何日もいろんなこと考えてたのに
1週間の旅行だったよね
私は悔しくて悔しくて しばらく君をムシしてたけど
ほんとは君が引っ越さないことがわかって
またずっと隣に居られるんだって思って とっても嬉しかった

中学3年生のとき 11月半ば
自転車と衝突したって友達から聞いて
心配してメールしたら 受験できないかもしれないなんて書いてたね
学校終わって大急ぎで家に行ったら ひざの擦り傷だけだったよね
私はムキになって君の事を怒ったけど
君が大した怪我をしてなくて ほんとに安心したんだから

だからさ
もうそろそろ嘘だって言ってもいいんじゃない
白い布なんか被ってないでさ
氷のように冷たいこの手も
青ざめたその唇も
嘘でしたって言ってよ

今なら許してあげるから

泣いたりしない ムシしたりしない 怒ったりしないから

お願いだよ

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
きしと 8/27 18:22	今まで散々嘘をついていたのに、永遠の別れだけが真実として目の前にある…… 筆者の物悲しさが伝わってきます。
さむらす 8/27 23:3	相思相愛なあまい恋の話だと思って読んでたので、最後の風景は心につささった。なんだか悲しげなモノログだったのはここに繋げるためだったのかぁ。 思い人の死を見てうそだと言ってえという絵は安いドラマでよくあるのに、この作品はすごい。
茜 8/28 13:44	3つのエピソードがかわいいです。よくある落ちではあるのですが、ここまで甘くて、ここですっと物語が冷えていくのは、あたしにはちょうどいい糖度だったかも。
vicky 8/29 4:41	悲しくて泣きそうになりました。
melonsan 8/29 15:30	オオカミ少年...とはちょっとちがうか。 この人には早く立ち直ってほしい。
RiZEL 8/29 17:6	作品の切れ味が凄いと思います。おみごと。
木星/dx 8/29 21:10	白い布が出てから、ちょっとくどいような。もう少し簡潔に。 反面、構成の簡潔さに抵抗を感じる。悲しさの向こうに、狙ってやってると思われる作者のシルエットが透けて見える。白い布に至るまで、もうちょっと脱線して見てもいいかも知れません。
zoo 8/29 22:48	良くある落ち・・・そうだったのか。 俺は最後までこういう落ちになることを読めませんでした。 だから最後はなるほどと思いました。
オリボリ 8/30 5:24	まさかこんなオチになるとは。 意外な展開で涙出てきそうでした。
Begonian 8/30 10:54	みなさんのコメントを見る限り、「よくあるオチ」とは捉えられていないようですね。 よくあるオチだと思ったんだけどなぁ。 第二段落で「あ、死んじゃうのかな」って思っちゃったし。 だから、辛口で言うと、正直「まあいいんじゃないの」くらいしか感想がなかったのですが…… う～ん、こういう作品を他所で多数読んでものがいけなかったのでしょうか。
ばっは 8/30 17:1	現実を過去を振り返りながらの作品。よく、見ることのある展開だが、確かな文章力が最後まで気持ちよく読ませてくれるいい作品でした。
あそびにん LV.2 1 8/30 17:20	あそびにんとしては、よくある落ちだと思った。シリアス系のエピソードを重ねて行ったら、最後ギャグで、これみたいにちょっと微笑ましいようなエピソードを重ねて行ったら、最後シリアスみたいな。下げて上げるか、上げて下げるか。 ただ、3つのエピソードが本当に微笑ましくて結構好き。
エスィフィア 8/30 22:49	最後まで落ちが読めませんでした。てっきりハッピーエンドになるのかと。読めなかった分、悲しさが伝わってきました。

結政 8/30 22:49	いつ死んだのかを示してくれると読み方も変わってくると思いました。 たとえば、 ・大人になって久々の再会が・・・。 ・高校生になったばかり、しょっちゅう会っていただと、読み方が変わってきますよね。
Alice 8/31 20:1	話の持って生き方はありきたりですが文章力でもっていったという印象です。
さむらす 8/31 21:58	なぜか、とかいつかなんてどうでもいいと思いますよ。 大切な人がいなくなった。それだけしか彼女の心にはないと思いますよ。
鞆 9/1 7:9	私は、「よくあるオチ」を綺麗に纏めた文章だと思います。 話の持って行き方が簡潔で分かりやすい分、オチが先に読めてしまう。けれど綺麗に纏まっていて、作者さんがこういうものを見せたかったんだな、というのがずっと伝わってきます。
ほろほろ 9/1 9:16	「よくあるオチ」というよりは「不釣り合いなオチ」という印象を受けます。 たとえどんなによくある結末でも、それを納得させる背景があれば感動するわけですが、この作品は読者を人ひとりの死の面前に立たせることができていない。人ひとりが亡くなるという事象（ネタ）に対して、心の動きがあまりにも弱いんです。 だから、この人（そして作者）の悲しみの軽さが浮き彫りになってしまう・・・・・・・・。
やまのかめさん 9/1 10:32	落ちがうまく生きていないとは自分も同感でした。個人的な印象としては、最後の段落の書き方よりも、前の三つのエピソードの方が軽いという印象を持ってしまいました。語り手から彼への感情について、印象が軽いと思うんです。甘くでも切なくでもいいですからもっと強い印象が残っていれば、落ちにも浸れたかもしれません。
神無月 9/1 18:17	「氷のように」以下三行はいらないですな。 良く嘘をつく人の真実は、破壊力が凄まじいんだよなあ、と。ちょっと感情移入。まあ、筋自体はよくある話なのですが。 やっぱり、3つのエピソードにもう少し糖度というか、彼に対する感情をはっきり示すものがもう少し衝撃的だったのかな、と。
弟子 9/2 5:33	嘘なんだよ あなたは嘘の中にいたんだよ
老若男女 9/2 20:30	ラストが最初からよめてしまうけど、でもわかっててもジーンときた。うまい事書いてるからだと思う
忠犬ヤス公 9/3 2:36	僕もオチはすぐに分かりましたね。でもとっても感動しました。文章が綺麗だからなのか。こういうの好きです。

[TOPへ](#)

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

正しい世界

合計ポイント：12 Point
作者：ペピン
作者コメントはありません。

草原を横切るように走る、まっすぐな茶色いレール
その中ほどに寝ころぶ、白いワンピースを着た髪の長い少女
頭と足を線路の上に乗せて、かぶっていた大きな麦わら帽子をわずかに膨らんだ胸の上に置いて
麦わら帽子を大事そうに抱えて、まぶしように青い空と白い入道雲を見上げる
私は黒い日傘をさして、黒いドレスを着て草原の中に立ち尽くす
やがて、二両編成の電車は麦わら帽子には気づかずに、その上を通過した
電車には誰も乗っていなかった

朝焼けが向かいのビルに反射して、いま、私は私の部屋のベッドの上で、目を閉じた

昨日と大してかわらない今日が、再生される

太陽が照りつけてじわりとかいた汗の感触が、ベッドの上でかさなる

けれど、嘘だらけのこの街で純粋に生きる

それって、傷つくこと

だから私は、嘘について生きることが大人だと思っていた

あのとき、幼い私は

線路の上で死んだ

そんなことはどうでもいい

私は幼くも騒々しい世界で、ささやかに傷つけ合うこの世界で

俯いて無感に生存するだけ

あるいは、私の世界の限界は、私の意図によって廻る

投稿者	コメント
key 8/28 13:34	窓のプニルで見たらレイアウトが崩れていたけど、マックのサファリで見たらレイアウトがビシッと決まっていました。ALIGNタグも許可して欲しいところですよね
茜 8/28 13:54	「あのとき、幼い私は 線路の上で死んだ」 このフレーズ好き。基本的にこの手の文章は好きなのですが、幼い私がどういう子なのか、世界はどういう風に嘘なのか、浮かび上がってこなくて、何が言いたいんだろう？という印象が残ってしまいました。 ところで正しくはどーいうレイアウトなんだろう。
key 8/28 18:30	たぶん左端からずれている行が、ピッタリ右端に揃うのが正しいレイアウト。マックのサファリで見ると正にピッタリこうなるので。 他だとダメなのは、たぶんフォントの関係かな…。スペースの大きさがフォントによって違うんだと思う。
さむらす 8/28 21:34	ぼくが見てるのって作者が意図してたレイアウトとちがうんですか。なんかぼくのだとかちゃがちゃになっててちょっと酔う。 電車には誰も乗っていなかったが、なんのために書いたのかなあと考えてたけど、考えてみて、孤独を表したかったのかなあと考えた。
kiku 8/29 11:51	最初は真ん中にやりたいのかなと思ったけど、等幅フォント（MSゴシックとか。楷書体とかにしてみると雰囲気と合っていない感じ）にすれば綺麗な左詰になる。ただ、多少文字を小さくしないと次の行に跨ってしまい意味無いけど。 >あるいは、私の世界の限界は、私の意図によって廻る 諦観してる感じだったのにこの文が来るってことは、自分に嘘ついていることに自覚的？ なのかな。フレーズ的にはセカイ系っぽくて大好きです。セカイ系が褒め言葉になるかどうかは人次第だけど。 # ぼく ruby タグ が ほし い っ
作者 8/30 13:59	言いたいこと、主張は何も無い。ただ自分の中にある淀んだイメージを言葉に置き換えていっただけ。 人間の感情は言葉で言い表せないものだと思ってます。だから、それを言葉で置き換えていったとき必ず不和を生じる。だから、読み手にとってわけの分からない作品になることは仕方ないと思い書きました。 でも言葉で言い表せる感情や気持ちをわざわざ言葉で表現するつもりはありません。ヴィントゲンシュタインは言葉の限界を世界の限界だと言いましたが、私はそうは思いません。知覚の限界が世界の限界ではないでしょうか。しかし、言葉で表せるものはそう多くはありません。つまり、言葉で表せない世界を表すには不可思議な言葉が出てきます。理解はもちろんしにくいですが。だけど、いつまでも分かりやすいものばかり書いていても仕方ない気がして書くに至りました。 この文章をどう読むかは読み手に任せます。私は私なりに、込めた感情があります。ただそれは、うまく言葉になりません。 レイアウトですが、私はサファリでやっているのでもサファリで見たのが正しいです。元々はワードで作ったんですが、横書きになるとあまり雰囲気がでなくて少し後悔してます。しかし、私からいわせればレイアウトすらどうでも良い。元々はオルタナの歌詞のように単語が連なっているだけの作品でしたから、もっと崩壊していても全然良いと思っています。

<p>あそびにん LV.2 1 8/30 14:7</p>	<p>正直、あそびにんはこの手の文章は苦手なのかも。 白い少女と黒い私、誰も乗っていない二両編成の電車、ベッドの上で目を開くのではなく閉じた、私の意図によって廻る等々意味はあるんだろうけど、なんというか理解しきれない。</p> <p>白い少女と黒い私はどっちも私？ あのとき死んだってというのはこの白い少女？（多分幻想だろうけど） 誰も乗っていなかった電車って、さむらすさんの言うように孤独の表現でいいの？朝だから目を開くかと思ったら、閉じた。諦めた感じの表現っていうのでいいのかな？ 結局？マークが一杯。相性の問題もあるだろうけど。</p> <p>フォントの関係でどうしてもスペースの幅って小さくなることが多いから、多分レイアウトが具チャットなってる人が多いと思う（あそびにんも含めて） 一列の字数を数えて右詰にしようとしたんだろうから、その努力には拍手。タグがないこともあって報われないのがちょっぴり可哀想かも。</p>
<p>あそびにん LV.2 1 8/30 14:12</p>	<p>やっほほーい、作者さんとすれ違ってしまった！ まあ、多分そうだよな。作者さんの言わんとするところは分かる気がする。世界の限界が知覚の限界であるって言うのも同意。 あそびにんの限界はほとんど言葉の限界と同じ気はするけど（汗汗）</p>
<p>kiku 8/30 15:10</p>	<p>言葉が不完全なツールってのは認める。 思考を言語に変換してアウトプットするとき、そこには確実に情報の劣化が起こっている。それを別の脳にインプットして復元を試みようとしても、完全に理解できることなんて普通無い。</p> <p>でも明らかなレイアウトの崩れは端から見てマヌケだから、環境によってフォントが違うってのは知ってた方がいいと思う。ずらした部分は変わりに斜体にするとかさ。</p> <p># 左詰じゃなくて右詰だよ俺っ！ orz # あと、テキストデータをWordで書くのは愚行な気がしないでもない。...あー、スペルチェックがあったか。アレはいいよね。 # Safariってデフォで等幅なんだ...</p>
<p>で～もん 8/30 16:19</p>	<p>文章のを見せてくれる映像がすごく鮮明で、作者の文章力の高さを感じます。</p> <p>すごく個人的な感情で申し訳ないのですが、主義主張のない文章っていうのは、どう受け止めればいいのか分からないので苦手です。</p> <p>でも、どこか心に留まる文章でした。</p>
<p>さむらす 8/30 23:19</p>	<p>言葉にならない思いついて詩がいちばん表現しやすいよね。言葉にならない思いついてたぶん自分でもよくわからないから、がんばって表現しようと思うんだと思う。読み手の心で反射してかえってきたものをみて、その思いを理解しようとする。</p> <p>あと、作者がでるのはまだすこし早かった気がする。議論がこれから進んでいきそうな色を見せてるから。まあ前回で真っ先に作者がコメント書いたぼくがいうのもなんですが、</p>
<p>結政 8/30 23:56</p>	<p>レイアウトの失敗は仕方がないので、これはこれで。 （右寄りにしていると確かに、光っていると思います。）</p> <p>ただ、私には何が言いたいのか分からずなにを表現しているのかも、掴めませんでした。 どう言うことなんでしょうか。 とおもって作者さんのコメントを見ました。 ・・・何といえればいいのかこちらも分かりません。</p>
<p>鞆 9/1 8:9</p>	<p>レイアウトは崩れていますが、これはこれで味だと思います。</p> <p>私にはイメージは伝わりました。しかしやっぱり言葉には出来ません。そういった意味合いにおいてはこの読み方で合っているのだろうと思いつつも、他の読み手と共感できない一抹の寂しさ。</p>

神無月 9/1 22:4	かなり素敵な文章です。ただ、主張はちょっとありきたりかも。でも、とても綺麗で、テンポも良く、情景が頭の中に残ります。個人的には、好きな部類ですな。 というか、結構わかりやすいほうだと思うのですが、どうなのでしょう。 あと、作者様。「主張しない」ことを主張することは、この作品のためになるとは、僕にはどうしても思えません。何故、全てを読者の想像にゆだねていただけなかったのかと、非常に残念な気持ちです。 言うべきことは、レイアウトに関してで十分だったのではないのでしょうか。
弟子 9/2 4:47	あなたはそれを、死、と表現しましたか それはただの境界だと私は思うのですがね

[TOPへ](#)

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

天狗

合計ポイント：12 Point
作者：zoo
作者コメントはありません。

政治家や有名な会社の社長は何故偉そうなのでしょう？

それは神様が嘘つきの鼻を伸びるようにしたからです。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
ペピン 8/27 12:29	初め見たときなんか脈絡が無い気がしたけど、ちゃんと読むとこれ凄いいね。 偉そうに振る舞う=天狗になる 天狗は鼻が高い=キノピオも鼻が高い キノピオは嘘をつくとも鼻が高くなる という思考が駆け巡りました。この解釈で良いのかな？ これだけ少ない情報で、これだけのレベルをかけるのは脱帽です。
mendel 8/28 2:27	>ペピンさん 僕も、マ オカートではキノピオ一筋です。 題名、本文、全てに隙が無いです！ ピノキオは外国生まれ、天狗は国産品。その二つがこんなにもマッチするとは.....正に、脱帽。
茜 8/28 13:46	キノピオかわいいですよ。(と、思わず言ってみる。) なるほどって感じはするのですが、うーん。政治家、社長=うそつきなわけでもないし。 童話調にして、これを使って物語を作ってみると、また面白いかも。
あそびにん LV.2 1 8/28 16:34	何だ、このペピンさんいじめ！.....キノピオって純粋でいいよね(結局言うあそびにん) 風が吹けば桶屋が儲かる理論。ちゃんとタイトルで道筋の誘導も出来ていて面白い。 政治家、社長=うそつきなのは、国民感情という奴で仕方ないんだ！(なぜか力説) まあ、そんな社長には誰もついてきませんよとは言ってみる。
さむらす 8/28 19:33	たしかにこの関連させかたはうまいと思うのですが、内容がどうもね。セイジカハウソツ キなんて小学生でもいえるんじゃないかな。

Begonian 8/28 19:51	その、なんていうのかなあ。 この文章の作者をととえるなら、「研究においては超一流だけど論文の書けない教授」、 みたいな？ そんな印象を受けた。 要は、見せ方、ですかね。
やまのかめさん 8/28 22:58	一読してハテと考え込んで、結局コメントを読んで、ほうと声を出してしまいました。よくも考えたと思います。 でも振り返ってみますと、政治家や有名な会社の社長が嘘つきで鼻高々で天狗で偉そう、 というのはあまりにも紋切り型の像でありすぎやしませんでしょうか。
Asagi 8/29 2:41	天狗とピノキオというまったく違う二つを掛け合わせたら社長と政治家が出てきた。 短文に隙無し。奥が深いですね。お見事！
ルンタッタ～ 8/29 20:35	わたしは、ピノキオの方がかわいらしくて好きですが・・・
結政 8/30 23:45	奥が深いというふうにおっしゃっている方もいますが ただ単に、風が吹けば...の類型に当てはまっているだけのような気が。 もちろん、題名が重要なものわかっているのですが。
忠犬ヤス公 8/31 14:24	この短さで読者にここまで考えさせる文章。お見事！の一言につきます。
ほろほろ 8/31 14:44	座布団1枚差し上げます。 テケテンテン、テン・・・・・・・・。
イッパイアッテナ 9/1 21:20	そういうことかぁー ようやく、なんでペピンさんが弄られているかわかった。 ピノキオだよ。キノピオじゃなくてw 本文のほうは、うまいこと言ったなあで、終わりかな？ 皮肉ならば、もう少し辛いほうがというのが、甘い嫌いなアッテナの感想です。
ヤンヤンマ 9/2 11:39	最初読んだときには「ん？」だったけど...コメントでなるほどね！ いやいや参りました。ただ会社に無名、有名はあまり関係ないかと。
RiZEL 9/2 12:42	タイトルが効いてますね。 無駄がない短さ、でもきちんと読ませる。 面白かったです。
にび 9/3 5:20	わかったときには「あー」と唸ってしまいました。なんかすごく悔しい。 こういうのだと、短文でわかりやすくまとめるのが必要なのはそうなんだろうけど、政治家や有名な会社の社長が嘘つきっていう風にも単純になってしまうのが難しいですね。

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果&まじょコメントは「アーカイブ」からGO。作者コメントをお早めにどうぞ。
3日15時47分 初くるくる 到着！

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

虚飾症。

合計ポイント：10 Point

作者：鞆鞆

[作者コメントを読む](#)

"あなたのことが、好きです"

別に、本心からそんなことを思っていたわけじゃなかった。ただ、彼の側は心地良かったから、つなぎ止めておきたくて、こんな安易な方法しか思いつかなかっただけ。

世界は紙芝居のようなものだと思う。私のために上演される。きっとどこかに台本のようなものがあって、周りの人はそれに従っているだけの登場人物。例えば転んだら痛がって泣くけれど、痛覚があるのかも怪しいと思う。だって私は人の痛みを感じないもの。

だから、困ったような表情をしていても、困るなんていう感覚を本当に持っているかは怪しいものだし、どうせ台本にそう書いてある通りに演じているだけに違いはないのだと思う。

そんなことを考えながら、私は、以前テレビで見た特に面白くもない連続ドラマの主人公がそうしていたように、ベッドにうつ伏せになって一人で枕を濡らした。こういう時はそういう風にするんだって、誰かが書いた台本に書いてあったから。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
ペピン 8/27 12:25	私は似た様なこと考えたことがあるので深く心に突き刺さる感じがします。私以外の人間は本当に実体であるのかって考えたのが、小学生くらいかな。例えば自分はゲームの主人公みたいなもので、世界は自分中心に進んでいる。自分が知覚しない世界は存在しないのと同じ。自分以外の人間は個人の意志を持っているのか、それとも始めから決められたプログラムによって動いているのか。それを確かめるすべは持ち合わせていないんですね。それに、自分がもしかしたらゲームのキャラクターのように誰か別の人格によって動かされていないことを否定することもできない。そんなことを徐々に思い出しました。
さむらす 8/28 1:5	なかなか素敵な文章だと思うし、ぼくもこのことには共感できる。でも、最初の三行ってなんのためにあったのかしらあ？

茜 8/28 13:43	少し違和感を感じながら読んでいて、最後の段落ですと納得できました。ああ、そうかって。 最初の部分がないと、最後につながりませんね。表現の工夫の余地は、あったのかもしれませんが。
木星/dx 8/28 20:48	『真実と嘘』が「まあそうかもね」で終わるならば、この作品はいきおい「ああそうですか」ってとこ。
結政 8/28 22:1	> 別に、本心からそんなことを思っていたわけじゃなかった。ただ、彼の側は心地良かったから、つなぎ止めておきたくて、こんな安易な方法しか思いつかなかっただけ。 自分に嘘をついているとかっていうのは 深読みのしすぎでしょうか？ ショックでこんなことを考えただけで。
カケラ 8/28 23:18	> 結政さん 深読みのしすぎじゃないと思います。 この段落だけほかと違和感があって、そう考えないとつじつまが合わないから。 アイデアがうまく働いてます。気に入りました。
さむらす 8/29 23:1	ああ最初の文が本心じゃないとするとだいぶ話がつながる。 本心だとして読んで、なんで最後ないたのかわからなかった。 彼女は彼のこと好きだけど、彼はそうでもない様子。だから自分に言い訳するように嘘をついた。そんなところでしょうか？
pencha 8/29 23:54	> 世界は紙芝居のようなもの 同じことを感じたことがしばしばあります。 自分だけが主人公、周囲は自分だけのフィールド。 文章としてきれいな点、気に入りました。
オリボリ 8/30 4:40	自分もこんなこと考えたことがあります。 最初の3行とその後の文章の関係性がいまいよくわからないかな？
あそびにん LV.2 1 8/30 15:58	よくあるよね、こういう考え（『真実と嘘』でも書いたので割愛） 最初の段落は、というか全体がどう考えても自己欺瞞でしょう。むしろ、最後につなげるために今までの文章があった感じ。そんな言い訳をしないとやってられないほど悲しかったんだね、きっと。
えむえむ 8/31 2:37	この世界で意識を持っているのは自分だけ。なぜなら他の人の意識を認識できないから。ってのは、考えたことがあるのでかなり共感できます。むしろ、こういうことを考えてた人が他にもいたのでちょっと安心しました。
ほろほろ 8/31 16:7	『弱い』文章ですね。 文体が泣いている。 果てしなく弱いから、 何か言おうとすると弱い者いじめみたいになる。 結果的に、批判も反論も許さない。 読むほうは一人で腹が立つか無視するか、 かかんで頭を撫でてやるかしかない。 主人公を感傷的にさせた事柄が書かれていないから、 なおさらその『弱さ』に拍車がかかる・・・・・・・・。 正直、年頃のをとめ並に扱いに困ります・・・・・・・・。 タイトルはいいと思うけど、 少女マンガの長いフキダシを切り取ってきたみたいで 新しさがないよ・・・・・・・・。
茜 8/31 17:31	> ほろほろさん 今のほろほろさんは、黙って泣き出した女の子を見て、どうしようもなくておろおろしてる、みたいな感じでしょうか。 何も本当に目の前に居るわけじゃないんだから、そんなに対応に困らなくても・・・・・・・・ と思うのですが。困らせてしまっているのは、ある意味でこのコラムの面白いところなのかも知れませんか。

<p>ほろほろ 8/31 17:57</p>	<p>>茜さん 面白いというより、ズルいと思うんです！ 「なんだか連ドラを9時40分から見てるみたい」とか、 そういう批判を言えないじゃないか！（言ってる！） 「文章を書く立場からすると、 ボーイ・ミーツ・ガールの部分こそが オリジナリティが出せて面白いのにー。」 とか、泣いてる人に言えないじゃないか！ この悪女め！</p> <p>.....すいませんすいません、悪女とまでは思ってません！ だから泣かないで、ひいひいひい.....。</p> <p>って感じを覚えたんです。</p>
<p>さむらす 8/31 22:29</p>	<p>ぼーいみーつがーるみたいなことを書くと安っぽい恋愛話になる気がするのだが。この作品みたいにしないと人間の本质のようなどこには着かないと思う。 もし、ツヨイ人間なら、そもそも文章なんて書かないと思いますよ。</p>
<p>ほろほろ 9/1 1:38</p>	<p>>さむらすさん 『ボーイ・ミーツ・ガールの部分がオリジナリティ』というのは、 出だしのキャラクターや背景をきちんと書きましよう、という意味です。でないと、読者が勝手な「彼」「彼女」像を代入するだけのハコにしか過ぎなくなります。 出だしを書いて結果的に安っぽい話になるということは、 キャラや背景などが安っぽいということで、 話全体が安っぽいということだと思うのですが.....。</p> <p>>もし、ツヨイ人間なら、そもそも文章なんて書かないと思いますよ。 な～るほど～。そう思われますか。 僕は、人に見せる文章を書く人は、読み手にとって等しく強者であると思います。 文章というのは、人にメッセージを伝えるためにあるものですよね。 そして、人にメッセージを伝えるためには、 そのリプライをしっかりと受け取る強さを持っていなければ、 まともに読んではもらえないでしょう？ 読み手にとっては、咀嚼するに堪えることを 文章に求めるわけだから、 その書き手は強者（抽象的な意味だなあ。 いろんな意味で、ですよ）なはず。</p>
<p>茜 9/1 11:29</p>	<p>さむらすさんの意見にも、ほろほろさんの意見にも納得。物書きって強くて弱い。</p> <p>>ほろほろさん こーいう文章を書く立場からすれば、男女の別れこそ面白いのに！ 昔の自分を思い出して切なくなるような、読者の中にあるものを呼び覚ます文章も必要な のでいいと思います。むしろあたしは好き。</p> <p>とりあえずほろほろさんの弱点は女の涙、と。メモメモ。（メモるな。）</p>
<p>神無月 9/1 21:19</p>	<p>良い切なさですな。恋愛系は苦手な僕ですが、これは好きです。あくまでも状況で示唆する文章に好印象。 こういう、面白さに共感を求めない文章の書き方が好きです。こういう人がいて、こういうことを考えて、こういうことをしているという、それ自体に面白さがあって、好きです。</p>
<p>神無月 9/1 21:20</p>	<p>言い忘れ。タイトルが大好きです。やはり、タイトルはインパクトか！</p>
<p>ふじさき 9/1 21:32</p>	<p>タイトル・そして作品の雰囲気に関心が持てました。 世界は紙芝居のようなものだと思う、の所はちょっとちぐはぐな気がしましたが、これはこれでいいのかも。</p>
<p>さむらす 9/1 22:22</p>	<p>ツヨイ人間ってのは、ごちゃごちゃと無駄なことを考えないと思います。情に触れると弱くなると誰かがいってましたが、ヨワイ人間ってのはごちゃごちゃといろいろ考えて心がいっぱいになるんですよ。だから言葉にせずにはいられない。ちゃんと伝わらないということがわかっていても言葉にせずにはいられないのです。</p>

<p>木星/dx 9/2 0:51</p>	<p>> さむらすさん > ツヨイ人間なら、そもそも文章なんて書かないと思いますよ。 > ツヨイ人間ってのは、ごちゃごちゃと無駄なことを考えないと思います。</p> <p>今イチわからないので、まとめてみます。</p> <p>< ツヨイ人間は無駄なことを考えないから文章を書かない ></p> <p>何か変なので、少し変えてみます。</p> <p>< ニブイ人間はあまりモノを考えないから文章を書かない ></p> <p>これならじっくり来るんですけど。</p>
<p>Eisen 9/2 1:23</p>	<p>日本人は、殆どが神を持ちません。神とはつまり、肥大化した脳が求める拠り所、ということも出来るでしょう。その安息から、自ら目を逸らしている。 孤独感。罪悪感。焦燥感。その他。 だからと言って、妄信や妄想といった愚に走ることはしたくない。そういうところにジレンマを感じます。</p> <p>なんてことをツラツラと考えたくなってしまうくらい、短いのに痛々しくて切実な文章です。</p>
<p>さむらす 9/2 1:33</p>	<p>> 木星さん 皮肉じゃなくツヨイという言葉を使ったんですよ。ツヨイ人はいちいち言い訳しなくても生きていける。世の中が嘘で満ちていてもそれがどうしたという感じで受け止めてしまおう。</p>
<p>茜 9/3 12:57</p>	<p>> 作者さん コメント読みました。 好きと言ったことと泣いたことが事実で、それ以外の部分は彼女の思考の中ですから、それが嘘とかホントとか、いちいち分類しませんでした。全部嘘で全部ホント。こういうとき、何が嘘なのか、いちばん分からないのは本人のような気がします。</p> <p>ああ、告白と涙が事実じゃないとすると、まあどうせ全部フィクションだけだね、になっちゃうのでとりあえず事実と思ってました。そこまでぐるぐるひねられても、却って醒めるようにも思います。</p>
<p>鞆 9/3 15:28</p>	<p>> 茜さん コメント、読んでいただいてありがとうございます。 なるほど、思考の中のことは嘘とか本当とかいちいち分類しない、ですか。それはそれで一種、正しい読みだと思えます。 とりあえず告白をしたこと、と涙を流したこと、は嘘じゃないはず、です。 嘘にしたい、という感情が、本当と嘘を無理やりごちゃごちゃにしてしまうから、本人はきっと、何が本当で何が嘘かなんて分かってないんだと思います。 だからこそ私は、冷静で客観的な判断のできる立場に居るであろう、読者さんに答えを教えて欲しかったのかも知れません。</p> <p>嘘という言葉、時に信じたくないことにも適用する私ですから、さぞぐちゃぐちゃに見えるのでしょうかね。</p>
<p>あそびにん LV.2 1 9/3 15:53</p>	<p>叙述トリックなんてあるくらいだから、一人称文を鵜呑みにしちゃいけないってのは分かるつもりだけど...さすがに、矛盾を感じなかったならそこまで疑わないかな。あそびにんは純粹だから(突っ込み却下)</p> <p>結局、作者に騙されたと思うかっていうと、全然そんな感じはしない。あそびにんはこの作品から矛盾のないような解釈という解答は出来ているつもりなわけで、作者の考えもまたそういった解釈の一つ。 もっとも、実際にこれがノンフィクションで、そんな事実がなかったなんて言われたら、騙されたというかもしれないけど、それは悔しいというよりも、じゃあこれ何なんだよって怒りみたいなものになってしまう気がする。</p>

鞆鞆
9/3 16:33

> あそさん
個人的には、矛盾のあるところには疑いは生じないと思います。矛盾は、答えがそこにはない、ということ、明確に示しますから。矛盾がないから、疑える。
ノンフィクションのつもりで書いたとして、現実にそんな事実がなかったなら、それはもはやフィクションではないかな、なんて思ったり。

「騙された！」とか思われたら騙すの失敗、と思うのは、私がひねくれてるからなのでしょうか。騙すのが完全に成功すれば、騙されたという感覚すら生じない、がゆえに、騙したんだよ、と主張しても否定される。それはそれで寂しい気もしますけれど。

あそびにん LV.2 1
9/3 17:37

> 鞆鞆さん
確かに、ノンフィクションのつもりで事実がなかったら、それはフィクションだね。

矛盾がないから疑えるってのも確かにそうなのかもしれない。矛盾があったら、それは疑うというより、間違いの確信だから。今回の910号室の8人だって、特に矛盾がなかったわけだけど、暗号じゃないかっているいと疑ったわけだしね。

こういう作品に対する解釈で言うなら、やっぱり読者は矛盾のないような解釈を探すわけだし、それが見つかったなら、たとえ疑ってもキリがないから疑わないかな。そこに絶対の答えはないと思うから。

んーと、たとえば、自分の本性みたいなものをひた隠して騙すとかの、猫被るみたいな意味なら、騙された！って時点で失敗だと思う。この作品の私が思う場合なんかだね。

でも、作品で騙すみたいな意味合いの場合は、種明かししないでしょうがないわけだし、それが自分の解釈よりも妥当だと思えないと騙された！とは思えない。これで騙された！って思わせるような作者の解答があった場合は、それは作者の成功だと思う。

つまり、あそびにんが言いたいことは、さっきのコメントはこの作品についての意味合いで言ったんだよと。

.....何だか、まとまりのない長文になってしまった...

鞆鞆
9/3 21:12

> あそさん
私は、疑い続けたらキリがない、とは思いません。ある程度以上を疑ってしまうと、普通はどこかで矛盾に突き当たる。それゆえに、私はどこまでを嘘と考えても極力矛盾が生じないように作品を書き上げて、読者の皆さんがどこまで深読みしてくれるかな、と思って見ていたのです。

きっと、騙された！と思うような劇的な騙しはない。だから、騙された！と思わなかった、というのは、私にとって一つの、騙しの成功なのです。ある意味で、「自分」（「作品自身」）の本性みたいなものをひた隠して騙すとかの、騙しですから。

なんというか、その、リクツっぽくてすみません。

[TOP](#)へ

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

[コンテスト会](#)

[コラム掲載ペ](#)

[コラムアーカ](#)

[プロフィール](#)

[自己プロフィ](#)

[BBS](#)

[まじょコメン](#)

嘘も小便、三段跳び

合計ポイント：10 Point
作者：木星/dx
作者コメントはありません。

「イタチおらへん……おらへんぞ！」

「何でや？ おった形跡はあんじゃけど。しょんべんしときよるし……アきたな～」
ブツブツ言いながら早速掃除を始めたのは母かづ子。経緯を説明しよう。

家中を荒し回っていた伸縮自在の悪辣なるイタチをトイレに追い込み、ドアを閉めてほっと一安心、後で処理しようと思って【開けるな！ イタチがおる】と張り紙をした上にドアをガムテープで固定したのが数時間前。家にはトイレが二つあるから、焦らず騒がず、ちょっと目を離して昼寝していたら、その隙にまんまと逃げられたわけ。

しかしである。トイレは完全な密室だったわけだし、いくらイタチが伸縮自在といっても、逃げられるわけがないのだった。母かづ子は便器を覗き込んで「こっから下水通って逃げよったんちゃうか！」と騒いでいるが、冷静に考えてあり得ない。だとすれば、イタチに手を貸したやつがきつという。しかもそいつは、家族の中に紛れているに違いない。

何か犯人につながるヒントに思い当たらないかと、俺はここ数時間のことを遡って思い出してみた。と、一人だけ、怪しい人物が……。そいつは俺が張り紙をした直後から、気になって仕方ないという風に、トイレの前を行きつ戻りつし始めて、「イタチどしとんにやる？」「あいつどしとんにやるなァ～」「あんなすばしこいのには捕まってしもて、ナァ！」と、はじけるような皺くちゃ笑顔で一人興奮していたのだ。何度もドアの隙間に顔をぺったりくっつけて、中を覗こうと頑張っていたやつの名は……

祖母しづ！

俺は早速、容疑者探しの旅に出た。そしてすぐさま台所で、好物の餅を盗み食いしている最中の祖母しづを見つけたのである。

「何食べてんにゃ？」

「ん？ 何にも食べてへんで」

みえみえの嘘をつき、齧りかけの餅をスローモーションで尻の後ろへと隠すしづ。そこはとりあへず流しておいて、本題に。

「イタチ知らんか？ 逃げよった」

「ん？ イタチなんて、わたしらんで」

怪しい。あんなに興味津々だったのに、逃げたと聞いても驚かず、下向き目線でやり過ごそうとしている。祖母しづ、嘘をつくときは決まって表情の輝きが失われ、目つきがとろんとしてくるのでわかりやすい。今回もその傾向が見られるのは言うまでもないが、しづしづ去り行く着膨れた後ろ姿（餅丸見え）を見守りながら、事の次第を確信するもそれ以上、老体に鞭打つような追求をすることはなかったのである。

半年後

「またしょんべんたれたんか！ よその家で！」

「ううん、たれた覚えがないのよ」

「嘘つくな！ 動物みたいことしてんな！」

自慢の一人息子にしぼられ、しょぼくれて階下に座り込み半泣きの祖母しづ。継るような目つきで通りかかった私を見上げたまなこキラキラと哀れみを誘うこと限りなし。

「ばあちゃんもうあかんの」

て、見たらわかる……というか、見たまんま。

「頭がクシャクシャー、クシャクシャー、してな、近頃不思議い～なことがよう起こって困ってんの。台にお金置いててもフツと見ると消えてるやろ。そっかと思うと、フィッと振り返って見たら、置いた覚えもないとこに大金がポンとな……。イタチか何ぞが悪さしとんのちゃうやろか。おまっけに覚えもないこと責められてな、濡れ衣着せられて……もっとええもん着せてくれたらええのに、紙みたいな服ば～っかり」

袖をひらひらさせてみせるおちゃめな祖母しづであった。その間もあなたこなたから怒声が響く。

「紙おむつはいとけよ！ それから……嘘つくな！」

数年後

祖母しづ、車椅子生活に入り、益々元気をなくしていた。

が、ある雪の日、いつものようにセンターの窓際をコロコロと祖母しづを転がしていると、

「ぼたもちゃ！」

違う！！

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
vicky 8/28 5:23	悲しい話ですね。「俺」さんは「しづ」さんが大好きなんだと思いました。
茜 8/28 13:36	でたー！しずおばあちゃん！ 最後の「ぼたもち」がなぞでした。これはいったい？
しづ 8/28 18:43	し「づ」です。
さむらす 8/28 20:4	山無し、落ち無しだね。好きなばあちゃんの紹介ですってところかな？
木星/dx 8/28 20:59	「でたー！」ってことは・・・前にもこんな作品があったのか～（ビックリ） とりあへず、エンタメ的な物語ではなさそうで。で、ぼたもちはどこに？
八剣 8/28 21:7	早くも祖母しづを出すくらいならなぜペンネームを変えたのかなと。
Begonian 8/28 21:26	なんだかよくわかりませんでした。何が言いたかったんでしょう。どうやら旧コラムランド参加者のみなさんには、何か通じるものがあるようですが……
結政 8/28 21:56	ダメだ……。分かりません。 読解力が無いのか、文が悪いのか分かりませんが……。作者コメントを待ちます。
key 8/28 22:16	まったく分からない…？？？ これこそ内輪ウケじゃないのかとちょっと疑ってしまう 気もしましたが単品でも読める気もする。 作者コメント楽しみに待ってます！
カサカサ 8/28 22:23	かわいいおばあちゃんだなあと思ったけど、それ以外に思うところがあまりなかったような……。 コメントを見るに、シリーズ作品なんでしょうか？他の作品を知っていればまた違った印象を受けるのかなあ。

茜 8/29 0:51	・・・・・きゃー。ごめんなさい、しづおばあちゃん。
木星/dx 8/29 5:53	ああそうか。と、ふと思ったんですけど。 山ありオチあり意味もあり（やおいの逆w）な起承転結もの（読者に親切！）な作品を読みなれてしまうと、こういう作品はどう読めばいいのかわからなくなってしもうのかも・・・
やまのかめさん 8/29 10:33	し、しづばあちゃん.....
あそびにん LV.2 1 8/30 14:26	しづ、ってなんやの？ わいにはわからへん。 Webコラムとかにあったのん？ こん作品の方便ってどこのなんやろなあ。めっちゃ気になるわ。 たまには方便バリバリの文章もええもんやなあ。 地の文は普通の文体だったはずなのに、「とりあへづ」ってのがあったのがいっちゃん気になったかな。 とりあへづいえることは、おばあちゃん、めっちゃお茶目やなあ。 (特に意味もなく似非関西弁でお送りしました)
さむらす 8/30 23:42	ホントにわかるわからないにくっきりわかれてるなあ。 まったくわからないじゃ議論できないから、だれか説明してほしいなあ。
えむえむ 8/31 1:41	えっと、結局イタチって何？むしろその意味不明な存在はしづが作り出した何かの言い訳みたいなものでしょうか...
やまのかめさん 8/31 2:56	頑張ってる感想、行きます。 ざっと読む限り、書かれている内容は、祖母しづとそれを囲む人々、といったところでしょうか。で、まあ、個人的な話になってしまうのですが、半寝たきり要介護な高齢者を近親に持つ身としては、なかなか正面から向き合うのが難しい内容なんですよ、これ。それで、まずはこの作品の語り手がどういう気持ちを込めて祖母しづについて語っているのか読み取ろうとしたのですけれども、まだわかりません。観察者に徹しているわけでもないし..... 読むにあたっての一番の難点になってしまっているのはやっぱり最後の段落でして、前との流れどころか、何を語っているのかさっぱりです。「ぼたもちゃ」???「違う!!!」??? 为什么呢、これ。 文章には必ずしも落ちがなくても、さらさら流してしまったり、逆に唐突に打ち切ったり、いろいろな終わり方があり得ると思います。でもこの部分は落ちが無いとかそんな問題じゃなくて、そもそも何が書かれているのかさっぱりです。
木星/dx 8/31 4:19	ぼたもちわかる人いませんか？
ほろほろ 8/31 15:14	母かづ子！ 祖母しづ！という 名前だけでクツクツと笑ってしまうね。 あ、ちなみに前シリーズは知りません。 この作者さん、とにかく人を見るのが好きなんだとお見受けしました。 たぶん、祖母しづを見たら 誰しもが誰かに話したくなるようなネタ満載の人なんだろうね。 年老いた切なさ、それを覆い隠すしょーもなさを持ってるんだろうね。 おそらく「ぼた餅」は、 白いもの（雪）を見て反射的に言ってしまったんだと思います。 別に丸くもねえよ！ しづ！
あそびにん LV.2 1 8/31 15:38	> イタチ これに関しては、俺も母も関わってるから、しづの妄想ではないかと。 普通にイタチだと思う。 > ぼたもちゃ！ 雪以外考えようがない.....で、でも、きっと誰かが雪合戦の球とか作ってて丸かったんだよ！ もしそうなら、その描写くらい欲しいところだけど。

<p>mendel 8/31 19:14</p>	<p>最後の「コロコロと祖母しづを転がしている」とを読んだとき、一瞬、「な、なんてことを……！お婆ちゃん転がして雪ダルマにするなんて……！」とってしまった。凄く微笑ましくて、読んで楽しく感じました。でも、最後センターに移っている姿を想像すると、少し切なくなります。途中の「わたしらんで」は脱字なんですか？方言？意味が通るので全く問題ないとは思いますが。</p>
<p>鞆 9/1 8:46</p>	<p>意味の分からない文章でした。 意味が分からないのは、きっと、要求されている前提知識を私が持っていないからだだと思います。これが100万人に分かる話かは私には知りえないことですが、私はその外側に存在していた、という。それだけなんだと思います。解釈によってどうこう、という文章には見えませんでしたから。</p>
<p>しづ 9/1 14:53</p>	<p>最近の若いもんは・・ ぼた雪見たことないにゃるか・・</p>
<p>あそびにん LV.2 1 9/1 15:53</p>	<p>> mendelさん それはあそびにんも思った。いつも雪だるまにされてるのか...強いな、しづばーちゃん！みたいなの。 > しづ ぼた雪ぐらい見たことないとでも思うたか、しづばーちゃん！でも、別にぼた雪だからってぼた餅ほど大きいわけではないよ。 やっぱり、ぼたもちゃ！が突然すぎたんだと思うよ、しづばーちゃん！ (何だか、声に出してみてもしづばーちゃんと呼ぶのが妙に心地よい)</p>
<p>あそびにん LV.2 1 9/1 17:26</p>	<p>> しづばーちゃん 見返してて気づいたよ。呼びかけのところだけ呼び捨てでごめんね、しづばーちゃん。</p>
<p>神無月 9/1 18:13</p>	<p>息子さん、あんまし怒っちゃだめですよ。辛いのはばあちゃんも一緒です。最後にせめて「雪を見て一言」とか挟んでいけば、もうちょっとわかりやすかったのかも、と思います。僕は結構笑いましたけど。 あと、別にweb版の予備知識が必要って作品でもない気がします。祖母しづの紹介話としては、特に問題ない気がするのですがいかがか。 やっぱ、ころころ場面転換入って、しかも一つ一つのエピソードに繋がりがないと読みにくいんだなあ、と思いました。まあ、全てに「嘘」は共通してるんでしょうけど。 でも、嘘というテーマを頭に思い浮かべながら読むと、最終段落が滑稽だからこそ切なくなったり。</p>

[TOPへ](#)

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果&まじょコメントは「アーカイブ」からGO。作者コメントをお早めにどうぞ。
3日15時47分 初くるくる 到着！

[コンテスト会](#)[コラム掲載ペ](#)[コラムアーカ](#)[プロフィール](#)[自己プロフィ](#)[BBS](#)[まじょコメン](#)

花屋の恋

合計ポイント：10 Point

作者：Begonian

[作者コメントを読む](#)

花が好きで、ここを選んだ僕。
出来ることなら、ずっとここに居たい。
さらに言えば、客は居ない方がいい。
そんなことを考えていた矢先だった。

「すみませーん」

店内に響く鈴を転がすような声。
鈴と言えば、スズラン。
幸運の再来

これといった幸運なんて、今まで一度も僕のところへ来たことないけれど。
空しい気持ちになりながら、対応へ向かう。

「はい、何でしょうか」

近所の高校の制服。
見慣れたはずのそれが、なんだか眩しく見えた。

「今度、……友達、が引っ越しちゃうんです。それで、何かお花をプレゼントしようかと思ったんですけど、何がいいか分からなくて」

「でしたら、これなんていかがでしょうか」

正直、我ながら陳腐な選択だったと思う。

「どうして、それがお勧めなんですか？」

「あなたを忘れない」

「え？」

「この花、シランの花言葉です」

「……あなたを忘れない……ですか」

「あ、申し訳ございません。もしかして、余計な真似でしたでしょうか？」

「いえ。そういうわけじゃないんですけど」

そう言って彼女はしばらく考え込んだ。

「すみません、明日また来ます」

「そうですか。ありがとうございました」

僕と花達だけの世界に、初めて他に居て欲しい人ができた。

今の僕を花で表すなら、クジャクソウ。

一目惚れ

* * *

「いらっしやいませ」

「あ、昨日の店員さん。こんにちは」

彼女は言葉通り、今日も来てくれた。

その雪肌を見て僕が連想したのは、白のチューリップ。

長く待ちました

「あの、昨日お勧めしてくれた花、シランですよ？それ、下さい」

「ありがとうございます」

彼女の中でどういう葛藤があったのだろうか。

それを彼女に聞くのはあまりに野暮だと思っていたのに、つい言葉が口から漏れた。

「昨日は、どうして迷っていたんですか？」

少しの沈黙の後、彼女は寂しそうに話し始めた。

「実はあの後、図書館でちょっとだけ調べてみたんです。シランには、他にも薄れゆく愛っていう花言葉もあるんですね」

「そうなんですか。それは知りませんでした。僕もまだまだ勉強不足ですね」

「あなたを忘れることはないけれど、あなたへの愛は薄れていく。とても悲しいことですよね」

彼女の言葉が、まだ終わっていない気がした。

その沈黙はどれだけの時間だっただろう。

涙声の彼女が、それを破る。

「でも、だから今の私に、ぴったり」

悟らされてしまった。

彼女はその“友達”のことが好きなんだと。

本当は、その気持ちを忘れたくないんだと。

でも、それは僕にとってはチャンスだ。

そんな不純な考えも、頭に浮ぶ。

なのに、不思議と僕の心には迷いがなかった。

「ご存知ですか？シランにはまだ他にも花言葉があります」

その言葉を口にした僕は、一体何を期待していたのだろう。

振り向いてはくれなかったけど、彼女のすすり泣く声は止んだ。

今なら、自分を騙している僕のひ弱な声も、彼女に届くかも知れない。

「変わらぬ愛」

顔を上げる彼女。

頬には光る涙の跡。

「一つの花が、矛盾する二つの花言葉を持つことは珍しくありません」

自分の言葉が、自分の心に突き刺さる。

「僕は、あなたがこのシランを選んだのを、あなたの愛が変わらぬものだからだと、信じます」

彼女の涙が、僕の心を締め付ける。

その時、僕が思い出したのは、白のチューリップのもう一つの花言葉。

失恋

「.....ありがとうございました」

彼女が店に来ることは、二度とないだろう。

また、僕と花達だけの世界に戻るだけ。

そんなに悲しくはない。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
ペピン 8/27 13:40	あなたを忘れることは無いけど、あなたへの愛が薄れる。なんか、ぐさっとくる。過去のこと思い出されて。 こういう作品は好きですね、心に残って。哀愁と愛情を揺れる男性って儂くて弱いですよ。そんなところがこの作品の魅力だと思います。そういえばラベンダーの花言葉も裏表があって話にできそうだなーと思いました。 この世界観に浸かっていたいです。余談ですが、私の生まれた日の花はアンスリウムで「情熱」、誕生花はツツジで「愛の喜び」だそうです。 ちなみに、ごぼうの花言葉は「いじめないで」だそうです。 そういえば余談ですが、
lily 8/27 21:55	ひとつの花にはいくつかの花言葉があって・・・ 人を救う嘘もあるんだなと思いました。
茜 8/28 13:50	「今の僕を花で表すなら、クジャクソウ。一目惚れ」 って部分があたしはなぜか一番好きでした。ほら、後ろに孔雀草いっぱい咲いてそう。そういえば、アカネの花言葉は、「媚び」、だそうです。
あそびにん LV.2 1 8/28 16:56	素直にうまいなあ。花言葉ってモチーフもGOOD！ こういう、掛詞的なものって大好き。 まあ、一つ思ったこととしては、「ここを選んだ」ってことは雇われ店員ってことで、僕と花だけの世界じゃないだろとか。まあ、後を継いだとかなら分からなくもないんだけど、それなら親はどこに？すいません、あまりにも無粋でした。 無粋ついでに、一回目で買わなかったのは、多分「あなたを忘れない」って言葉が彼女には重過ぎたからだって読んだんだけど、それなら「変わらぬ愛」って言葉はもっと重い気が...いや、ごめん、ああ、物を投げないで。
key 8/28 20:1	一人称の文章でこういうの書かれると、正直敵わないなあと思ってしまいます。技術も題材も素晴らしい！ 「そんなに悲しくはない」というメの言葉も良いです。 次回作も期待しています。

<p>結政 8/28 22:31</p>	<p>>ひとつの花にはいくつかの花言葉があってそれは嘘じゃないです。 一例を挙げますと、シロツメグサには「約束」「幸運」という二つの花言葉がありますし他にも例を挙げていくとキリがありません。</p> <p>花言葉は、もともと寓話や伝説などから付けられているので出典がいろいろあると、個々の話のイメージに引きずられて矛盾してしまうものが付いてしまうこともありえます。</p> <p>>ペピンさん ゴボウには「私に触らないで」という言葉もありましてこれは花がとげとげのよろいのようなものの中に咲くからだそうです。こちらは花の形から来ているみたいです。</p> <p>ちなみに、花言葉は花では無いのに枯葉などにも付いていたり（枯葉の花言葉は「悲しみに沈む心」）カキの「広大な自然の中で私を永遠に眠らせて」のように妙に長いものもあるようです。</p> <p>以上、花言葉豆知識でした。</p>
<p>結政 8/28 22:32</p>	<p>って、違う。 この作品について。</p> <p>花言葉をうまく使って話が進んでいる点が非常に見事でよく調べられていると感心しました。</p> <p>.....豆知識のほうが長くていいのか、私。</p>
<p>Asagi 8/29 2:31</p>	<p>花言葉をめぐる物語。シランの使い方が効果的でよかったです。シランを主軸にするなら、スズランとチューリップは必要だったかなあ...?と思ったりもしましたが。</p> <p>余談ですが、シランの花言葉の順番を逆にするとまたぜんぜん違う物語ができますね。</p>
<p>melonsan 8/30 10:22</p>	<p>冒頭のスズランで「幸運の再来」が花言葉だと、気づかなかったので浮いた感じがしました。</p> <p>シランも見え目が分からないので、読んでいる最中はイメージが湧きませんでした。ちょこっとだけでも、説明しておいてほしいです。</p> <p>この店員さん、自分をだましたとしても、すごく勇気のある人だと思います。</p>
<p>エスィフィア 8/30 22:38</p>	<p>そんなに悲しくはない。うそですよ。花言葉を自在に使える人ってすごいと思います。花も華を添えていて、きれいなお話でした。</p>
<p>ほろほろ 8/31 14:40</p>	<p>花の名前と花言葉を効果的に用いるためには、花の表象（色、におい、咲く季節、原産地など）についての描写があるといいですね。</p> <p>それが花の本分なわけで、花屋なら花言葉よりも花の表象を好かずにおれないはずですから。それをを用いて意中の人とコミュニケーションを膨らませるなり、物語と結びつけるなりするともっと面白くなるでしょう。</p>
<p>He 8/31 18:34</p>	<p>花言葉が紡ぐ恋の物語。なんか儚くて切ない。きれいに束ねられたような印象でした。</p> <p>ただ、少しだけ花への連想が不自然に感じられてしまった。主人公の立場を考えれば、納得はできるのだけれど、なんか釈然としない...</p>
<p>やまのかめさん 9/1 14:18</p>	<p>着想も見せ方も、なかなかいいと思います。</p> <p>ですが、花言葉の見せ方をもっとうまくできると思うんです。単純に斜字にするだけではなく、言葉を挟んだ方が印象的になると思います。そもそも最初の鈴蘭の箇所では、知っている人でないとピンと来ないのでは？</p> <p>それからせっかく花を題材にしているなら、やっぱりほろほろさんが言われているように、花の外見や香りなどの描写を重ねながら情景を作っていったらよかったのに、とっと思ってしまう。</p>
<p>blue-orange 9/3 1:48</p>	<p>いいですねえ。花言葉なんて全然興味ないですが、こう書かれるとロマンチックな感じが出て素敵ですね。</p>

みなさん、コメント、ありがとうございました！
では早速、一つずつ。

ちなみに、作者コメントの方で答えてる分に関しては、こちらでは割愛してます。

> ペピンさん

初めて自分の誕生花を知ったとき、思わず「花じゃないじゃん！」ってツッコミを入れてしまった人からすると、ツツジだなんてまぶしすぎます。

まあそれはさておき。

心に残って、とはなんとも嬉しいお言葉です。

読んだ人全員の心に深く刻まれるような、そんなのが目指すところであります。

> lilyさん

人を救う嘘は割りと同時に犠牲者が出ます。用法用量を守って正しくお使いくださいね。

> 茜さん

びみょーに想像したくない光景をわざわざ言葉にしてくれて、どうもです。

そういえばアカネには「私を思って」なんてのもあるそうなので、ぜひぜひ。

普通の人なら花言葉を乗せて花を贈ったりするところを茜さんの場合はそれこそリアル「プレゼントはあ・た・し」状態で「私を思って」の言葉とともに迫ればきつとごめんなさいごめんなさいごめんなさい妄想が過ぎました。

> あそびにんさん

あいや、ごもっともな指摘です。

遠慮などせずにはずばずば言っちゃってください。

> keyさん

次回作に期待とは、随分とプレッシャーのかかるお言葉で。

が、がんばります！

> 結政さん

はいもうその通りです。

書き始める前から知っていたのはシランだけで、後は調べながら流れに沿うように当てはめました。

うまく使えてるとの評価に苦労が報われます。

> Asagiさん

じゃあその逆順はAsagiさんに投げていいですか？

> melonsanさん

ぎゃ。

読者が思い思いにイメージする、ということをしたかったのですが、どうやら上手くいってないようですね。

次に活かせるよう努力したいと思います。

> エスィフィアさん

花言葉を自在に使える人、なってみたいです。すごいですよね。

> ほろほろさん

いかんせん、字数的にも厳しいものが.....。

> Heさん

やっぱり主人公のキャラクターの練りが足りなかったのでしょうか。

確かに、すごくあやふやなイメージのまま書き始めました。

なのでそこを指摘されては何も反論できません。要反省ですね。

> やまのかめさん

「二日間を繰り返す世界の中にいる」なんてひどいセカイ系の読み方も出来るのです。繰り返されるたびに住人達の記憶もリセットされます。ほら、いろいろ胡散臭くなってきたでしょ？まじよさまはそれっぽいことを指摘してるんですね。

信じるか信じないかは、あなた次第っ！

> blue-orangeさん

では是非これをきっかけに花言葉に興味を持たれてはいかがでしょう。もしそうだったのなら、嬉しい限りです。

番外

> まじよさま

ちょっとお！

「鈴を転がすよう」って広辞苑にもちゃんと載ってるんですがっ！！

いやあ、確かにランドの時に一回素でかましましたけど。

今回は日本語のミスじゃないですよお～。

そういえば「ワザが目について、情緒がやや犠牲になった感」って前も聞いたなあ。

ああ、「雨」のときか……。ああ……。泣きたい。

泣かないで。

まじよ
9/3 17:3

ありましたね、「鈴を転がす」。ごめんなさい。
お詫びに5000ギル進呈。何かのときに使ってくださいな

[TOP](#)^

今週のお題

開催中： インターネット

投稿受付中： くるくる

Column Land

網です！
5時台に12作品、作者さんたちおつかれさま。
嘘の結果は「アーカイブ」からGO。まじょコメントは「掲示板」139から。作者さんたち、作者コメントをお早めにどうぞ。

[コンテスト会](#)

[コラム掲載ペ](#)

[コラムアーカ](#)

[プロフィール](#)

[自己プロフィ](#)

[BBS](#)

[まじょコメン](#)

変わりゆくもの

合計ポイント：10 Point
作者：colt
作者コメントはありません。

口約束は、時に薄れていつしか臙。

この糸は決して千切れない、と。互いの小指を結んだのはいつだったか。
幼い手遊びのそれは、本当に他愛も無いただの糸で。
それこそ、裁縫箱の中にありふれているようなもので。
だからこそ、この赤糸は変わらないと、そう信じ切っていた。

けれど気付けば、時は過ぎ。
その赤は色褪せ、糸はほつれ。
あなたの指から、するりと零れ。
まるで、初めから無かったかのように。

「俺さ、結婚するんだ」

そう、と笑った私の、冷え切った指先。
そこに纏わる一本の絹糸。
もはや色さえ判別できぬそれは、辛うじて残るその身を一つ、柔らかく風に遊ばせて。
名残惜しげに消えゆく様を、私はただ眺めるしかなく。

例えそれが、かつてどんなに固く結ばれたものであったとしても。
消えてしまった誓約はもう、そもそもの存在すら、あやふやで。
あなたの言葉が紡ぐのは、遠いあの日の、かすかな思い出。

だから、 嗚呼。
私はそれを、嘘と呼べない。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
vicky 8/28 4:54	私なら嘘つきだと思って、その人の好きだったものやことなんかきらいになったり、こだわってしまうと思います

茜 8/28 13:53	最後の2行が好きです。 もうちょっと、何があったのか想像したくなるヒントがほしかったかも。 それとも、なにもなかったのかな。
結政 8/28 22:23	ここから、この女性が狂っていくとかだと すごくいいと思います（個人的嗜好） 雰囲気は良くて、遠い昔の子供の頃の無邪気な約束への想いが よく描けていると思いました。
カケラ 8/29 0:11	確かにこれを嘘というのは酷ですね。 横道にそれない読みやすい文章です。 ただ、ちょっとありきたりです。
朱雀 8/30 0:50	ありきたりな展開の中で、いかにして読者を惹き付けるか。そこが腕の見せ所。作者の腕、光っていたと思います。 ただやはり、ありきたりと言われてしまうのは、避けようのないことでもありますね。もうちょっとひねることもできたのではないかと思います。 それでも、私は十分に楽しませてもらいました。 私の言葉がこれからの作品作りに参考になれば幸いです。
忠犬ヤス公 8/30 1:29	一途な姿っていいですね。文章もとても読みやすく良かったです。
あそびにん LV.2 1 8/30 20:25	雰囲気ものすごくいい。読んでいてリズムもいい。 一つ気になったのが、「糸はほつれ」のところはどうしても「て」が欲しくてたまらない。「糸はほつれて」なら7音だし、次の「あなたの指から、するりと零れ」にもつながりやすいと思う。 題材自体はありふれていても、それを雰囲気と読み心地で補えていると思った。 > 茜さん 多分、幼少の頃に将来を約束して赤い糸を結んだような俺が、それを忘れて別の女と結婚することになった。事実としてはただそれだけだと思う。 > 結政さん vickyさんもある意味同じような意見なのかな？ それはそれで一つのあり方だと思うけど、あそびにん的には茜さんと同じく最後の二行が面白いと思ったから、これでいいと思うかな。
こかみ 8/31 22:25	いきなり「朧」が読めなかったのが少し恥ずかしいです。 全体を通して、「時は過ぎ。」「あったとしても。」などの区切り方が非常に印象的でした。糸でつながっていたことを「嘘と呼べない」と判断しましたが、そうであるならその二点がかかり離れた位置にあるのでややつながりが薄いのでは。もしそうでないなら「糸は何だったの？」となるわけで、そのあたり改善できるかもしれません。 ところで、「裁縫箱の中にありふれている」ものが「絹糸」ってなんとなく違和感。別の比喻？揚げ足取りごめんなさい。
鞆 9/1 9:21	私は茜さんとは逆に、最初の2行が好きでした。空白行を1行とカウントするのであれば、最初の3行が。 嘘と呼びたい。嘘と呼べない。そんな感覚に感情移入。
やまのかめさん 9/1 12:59	雰囲気も良いですが、軸をブレさせずに読者を引き寄せ続ける構成が良いのだと思います。冒頭の口約束という話題の提示、中央の彼の言葉、最後の語り手の「私はそれを、嘘と呼べない」、それぞれ短い文ですけれど、この展開がしっかりしているからこそ、間に挟まれる詩的な句が効果的に働いているのだと思います。流れがとても良い。 中身も取り上げられているモチーフもありふれたものではありませんが、それから締め方もこんな締め方はどこかの詩で見たような気がします。それでいて読者を引きつけ浸らせる力があると思いました。お見事だと思います。 > あそびにんさん 糸はほつれ、の句は、このままでいいのではないのでしょうか。この部分はゆっくりしつとり読ませる部分だと思うんです。ですから音楽でいうところの休符が入ることを前提にすれば、7音にこだわる必要はないと思うんです。むしろ「ほつれ」「零れ」と句末のリズムが揃っている方が印象的で良いと思うのですけれど。

あそびにん LV.2 1 9/1 16:46	<p>> やまのかめさん うーん、なんとなく好みの問題かもしれないけど、「その赤～」から一纏まりで糸の行方というか、結末というか、そんなものを表しているところだから、流れるように読ませてもいいかなあと思ったんだよね。 韻なら「ほつれ」で終わった方がいいのは明らかだし、区切りを入れるのなら休符の意味で6音がいいのも分かる。 でも、一纏まりの情景描写みたいなものは一気に読ませたほうがいいと思ったんだ。この2文は並列じゃなくて、ほつれたから零れたみたいに関係の深いものでもあるし、続けて読めたほうがいいかなと。</p> <p>全体が別に5とか7にそれほど拘っているわけでもないからあれかもしれないけど、つなげる意味でもてがあるといいかなと思った。</p>
地紅晴酸 9/2 20:36	<p>雰囲気は好きです。 ただ、「判別できぬ」の「ぬ」に多少違和感を感じます。 別に古文調なわけでもないですし、「判別できない」でいいと思います。</p>
あそびにん LV.2 1 9/2 22:36	<p>> 地紅晴酸さん 全く気にならなかったかなあ。</p> <p>そもそも、この文章を読んだとき、登場人物は着物を着ているような古臭い感じの印象を受けたんだよね。...なんでだろう？ 臃って言葉の印象かな、多分...よく分からないけど。 そんなわけで、できぬってのが全く気にならなかったな。 まあ、それならそれでラストは「嘘とは呼べぬ」にそろえた方がいいのかもしれないけど、語感がまるっきり変わってしまうからなあ。</p>
Tohma 9/3 1:15	<p>淋しさ、虚しさ、心にぐっときました。 子供のころの恋ってなんだか綺麗な思い出として残りますよね.....（遠くを見る目）</p> <p>ただ、読点の位置でちょっと読みにくいかな、と思うところが。 「まるで、」「そもそもの存在すら、」の読点は要らないかな、と。 多分、趣味の問題ですけど。</p>

[TOPへ](#)

「嘘」まじょコメント

海に続く嘘。

いきなり抽象お題です。難度かなり高し。にもかかわらず、初回の大波を上回る 49 作品が肅々とエントリーです。作者さんたち、ありがとう。コメント陣、おつかれさま。

さて、どう系統立ててみましょうか？

今回もモーゼの二分法(勝手に命名)です。

嘘を「つく」/「つかれる」、能動/受動。登場人物が、あるいは読者の共感がどちらのサイドにより傾くかという観点から、まずは、ぱっさり分けてみました。

パート1 嘘をつく	計 21 作品
パート2 嘘をつかれる	計 28 作品

おお、きれいに 3:4 に分かれた!?! 「貴方は、3対4の窓越しの写像。」

そのなかをさらに細分して、目次は以下の通りです。

パート1 嘘をつく

1. 強者を騙し、自らを守る
2. 狐と狸の化かし合い
3. ベッドサイド・ストーリーズ

パート2 嘘をつかれる

1. 神様に騙された
2. 恋人に騙された
3. 仲間に騙された
4. 自分自身に騙された
5. 作者さんに騙された

では、まいります。

パート1 嘘をつく

嘘をつく、という行動を自ら起こす。そのことで、生じた波紋のあれやこれや。
嘘をつく 相手 との力関係を基準に3パターンに分類してみました。相手が自分より

も強者であるか、対等であるか、弱者であるか。

1. 強者を騙し、自らを守る

強者に対してつく嘘は、小さな自分を守るため。9作品がエントリーです。

嘘をついた日

小学生のカズキくんにとっての強者は先生。その先生に嘘をつき、自らと仲間を守ること、友情がはぐくまれます。「生まれて初めて大人の人に嘘付いたよ」と小さな小さな武勇談が、ほほえましい。

先生は、優等生っぽいカズキくんの証言だから信じたんでしょうね。起死回生の嘘にしては「忘れ物」というのが、やや拍子抜けではありましたが、そのぶん、ツクリモノ感が抜けて、実話ベースかなと思わせる親近感が湧き出ていると読みました。

やや冗長だったか。特に前半。書ききったあと、整理しなおす段階を経ていると、ずいぶん違うのにな、と残念です。

それと、みなさんが気にかけている猫の後日談、よろしく。

嘘をつく理由、つかない理由

少年にとって怖いのは、先生よりもたぶん仲間。みんなに否定的に返されるのが恐くて、ついつい周囲に合わせてしまう。

うんうん、あるよね、と共感を誘う筆致でした。気持ちの揺れがていねいに描かれているところが、何よりの良さと言えるでしょうか。

それだけに、さいごのしあわせ話「僕は、もう、大丈夫。」は、やや唐突。自分を元気づけるラストにしたかったのかもしれませんが、全体のトーンに合わせて、ずっと揺れながら漂ってゆく終わり方のほうが似合った気がします。

純情マゾヒスト

カズキくん大活躍。今度はおねしょをバラして「オレ」にキャラクター・チェンジの野望を植え付けます。セキガハラという遊戯のリアリティが読みどころになっていて、これも実話ベースなのかなあ。

マゾヒスト？ と議論を喚起したところは狙い通りなのでしょうが、このやんちゃぶりはやはり「マゾヒスト」とは違いそうですね。

「何より小学生にそんな単語を吹き込むお姉は一体何者」が気になりました。

拝啓、姉上様

はい、お姉の登場です(強引)

亡き姉への追憶、浴衣でまとめて、しっとりとした読後感です。夏祭り、遠くに聞こえる喧噪、それは浮き世の喧噪から少し距離を置きつつ自分をみつめなおす時間となって。情景と心境のシンクロのさせかたが、すてきです。

ただ、嘘、関係ないのでは？ お題をもう少しうまく組み込みたかった。とりあえず、周囲への嘘、ということで、ここに置きます。

けむり

これもまた、周囲への嘘ですね。友達に、家族に、気を使っているうちに、タバコ嫌いって言えなくなってしまう、という。

そこは伝わるのですが、これだけだと、あ、タバコ嫌いなのね、で終わってしまうので、なぜ、そんなに大っきらいなのか、自己分析してみると深まるのでは、と思います。生理的に？ それとも健康に悪いと思うから？ それとも健康に悪いと知ってるくせに吸う無神経な相手に対する嫌悪感？

なにもかも

周囲への嘘。小さな自分を、大きな脅威から守るための嘘.....なのでしょうか、これも？

「五右衛門だらけだ」とか「ミスターのさつま揚げ」とか、言葉遊びなのかな？ 意味不明で情景が浮かばなくて困りました。みんな「父がいる」「母がいる」だけに反応してるみたいだけど？

人類滅亡、生き残ったたったひとりの、悲しいカラ元気、ととりあえず読んでおきます。

エイプリルフル

あれれ？ エイプリルフルって、嘘をついてもいい日のはずでしょ？ 本音や弱音を言ってもいい日なんだよ、嘘をつかなくてもいい日なんだよと、やさしい口調で、ダメさないでくださいな、お姉さま。

いかに日常が嘘で固められているかをさりげなく気づかせるための一投と見た！

嘘をついた少年のお話

書き手にとって、最大の強者は読み手でしょう。どう誤読されても、どう曲解されても、泣く泣く受け入れるしかなくて。だって、お客さまは神様ですから。

そんな神様に対して、少年は嘘をつきます。エリカ行方不明事件について、僕が大海原へ押し出したのさ、と得々と語りながら、いっぽうでそれ自体が嘘だよ、とタイトルで暗示しているかのような。……と、本作における「嘘」の消化を私はこう読みました。

前作は「俺」で、こんどは「僕」。よって別人格？ 設定は同じ、できごとは同じ、でもそのタネアカシが毎週異なる、ということでしょうか。

個々の完成度を維持しつつ、これで5種できたらすごいなあ。

金の斧

強者への嘘。ラストは話題作で、しめましょう。

うつくしい泉の妖精に嘘をつくなんて、なんて大それた。

「はい、そうです」「いいえ、嘘ではありません」 棒読みセリフのような（あるいは英会話テキストのような？）そっけないフレーズにしたことが功を奏して、構成の妙を際立たせていました。これで思い入れたっぷりのセリフだったら、くどいだけだったでしょう。

でもって「単位」ねえ。現役大学生でも分かったり分からなかったり、だったようすが。あれって、何で「落とす」って表現するのでしょうか。私から見れば「差し上げる」もの。差し上げようとしたら、手が滑って湖の中にぼちゃり??

替わりにゲットした銀メダル。たいせつにしてくださいませ。おめでとう!!

おまけ：「ふっ、またつまらない単位（モノ）を斬ってしまった」（昨年の工大祭パンフレット……だった気がする）

2. 狐と狸の化かし合い

対等な相手に対してつく嘘は、虚々実々の駆け引き。7作品エントリー。

クライマックスはまだ先の話

いきなりバトルだ！ 古代の彫像なんて、思いっきりゲーム世界への連想を誘いますよね。

だから両腕犠牲でもそう気にはなりませんでした。サイボーグなら、きっとまた生えてくるでしょ（テキトー）。それより「懸命な判断」のほうが気になりました。

手際よい展開で、ケーブルを引きちぎるあたりに盛り上がりは感じられるけれど、読み手のなかにある既成のイメージをなぞっただけのような印象。

せっかくストーリー展開を犠牲にして、シーンの描写を取ったのですから、そのシーンのどこかに、他にはない独自性をピカリと光らせたかった。

未必の故意

こちらもタイトルはものものしく、でも、できごとはずっとさりげなく。

凧子と渚。小さな行き違いが、その後の運命を分けるまで。

こういうことがありました、で？ とその先への誘導がないので、受けとりかたにとまどってしまいます。だから、ラさんのコメントが逆に光ってしまったり。

「はにかんだやさしい目」という表現が、とても魅力的なので、そこから渚さんの人柄をふくらませてゆけると、もっと引きつけられたのでは。

嘘をつかずに嘘をつくこと

嘘つき学入門ですかね？ ただいま組み立て中、という勉強ノートのような趣。

コメントでも言及されてますが、全面肯定で引用をするくらいなら、ぜひ咀嚼して自身自身の言葉に。

他者の見解をまるごと引くのは、その見解に反駁したり、それを知って自分の考えがこう変わりました、というような議論のステップアップに用いる場合に限ったほうが、議論の独創性を強くアピールできるかと思います。

お待ちかね(たぶん)。恋のかけひき、行きましょう。

ついても良い嘘

お姉ちゃんの恋人。

前半の動と、後半のお茶をすすりながらの静が、いい対比です。さいごのひとことも凄みが効いて。

タイトルがリクツっぽいのが惜しい。たとえば「復讐」なんて、どうでしょう？

花屋の恋

花言葉をキーに、どんどんストーリーの扉を開いてゆくのはワザアリでしたが、ワザが目について、情緒がやや犠牲になった感。テンポ良く展開してゆくためには、しかたないのかな。

疑問がひとつ。冒頭に戻って、「幸運は再来する」と読んでも良いのでしょうか。つまりはハッピーエンドだと。

【追記】 作者さんのコメント「二日間を繰り返す世界の中にいる」を受けて。

ああなるほど。冒頭のスズランをできごとを起こすためのキーと考えると、明日が来て、またお店を開けると「幸運の再来」が訪れて、という花屋さんを舞台のエンドレス・ストーリーが編めそうですね。永遠に繰り返すのか、少しずつ変化するのか。あるいは、毎度「鈴を転がすような声」では飽きるから、茜色の夕陽に染まったドアをあけて、長い髪の少女が訪れる。私を思ってごめんなさいごめんなさい妄想が(略)

うそつき

さらりとつぶやき。

さらりとしすぎて、余白 = 読み手の想像の余地が大きすぎて。

まあ、そういうつぶやき路線もありだとは思いますが、それならばラスト1行が蛇足に感じました。

パパは公園で一人でお昼を食べる

無邪気でかわいくて、未恐ろしい娘。もしかして、この子をこんなにしてしまったのは、身勝手なパパとママのせい？

なるほど、これはネタに見せかけて、家庭教育の大切さを訴えるメッセージ作品と見た！

予想通りとは言え、強かったですね～。さすがのネタ師、本領炸裂。ありえないほどの圧勝、おめでとう!!!

【追記】 長いタイトルを流行らせた張本人さんへ。

構成・文体ともに、すばらしかったと思います（敢えて探せば、ハンコは「捺す」）。

で、笑ったあとで、この状況をもういちど反芻するに、これは娘にとって、そうとうに悲劇的な運命であるわけで、だからこそ、瞬殺コンボに「新しいパパが好き」と、自分を襲った悲劇をネタ化して乗り越えてゆこうとしているのかもしれないな、がんばれ娘！と敢えて深読みしたくなりました。

人生の不条理を乗り越えてゆくための笑いの力。とてもたいせつな真理だと思います。ネタ作品を1ランク下に見る読み手さんもいらっしゃるようですが、その偏見を跳ね返して、ネタ力を今後とも炸裂させていってください。応援します。

3. ベッドサイド・ストーリーズ

さいごは弱者に対してつく嘘です。弱い者を騙すなんて、ひどい？ いえいえ、事情が

ありまして。5 作品エントリー。

優しい嘘

すぐによくなるよ 重病の彼女を騙す嘘。

「このうそは優しい嘘なのでしょうか？」という lily さんの問いかけに何らかのメッセージが返せるようになれば、このストーリーがもっと重みを持ってくると思います。

今日、私は

そのあたりまで視野に組み込んで、安楽死とは？ と問いかけたのが、この作品でした。

「おやすみなさい」のリフレインをせつなく響かせつつ、ラスト 1 行で「(答えを) 聞きに行く」

ラボナール(カコナール)に塩化カリウム、医学部の学生さんだったら、すぐに分かったのかな？

極限の状況に置くことで、問いのカタチをクリアに見せようという意図だったと思うのですが、「びっくりするくらいの笑顔」で、もう答えが出てしまっているような。

嘘は文化？

え？ 「カップルが病をいいことにイチャイチャする」？ そんなそんな。

ときどき砕けたフレーズを放り込みつつ、基本はきっちり論説調でしたが、日本とは？ から入ったのが、遠回りし過ぎた感です。

日本文化にとって嘘とは？ と、きっちりターゲットをしぼって攻めたかったところ。

ラストサムライ 奥ゆかしさ セカチューと、なだらかに盛り上げてゆく意図だったと推察するのですが、作品の冒頭って全体の印象を決めてしまう重い部分なので、この場合、ラストサムライがいちばん強く読者の中に残ってしまいます。

冒頭は超重要、特に、論説の場合には。という原理を念頭に次回作を組み立ててみてください。正面切って論じようという非ネタ精神(勝手に命名)を応援します。

夢 = 嘘

ほら、こんな流れの中に置くと、子供に対してむじゃきにサンタクロースするのも、いいことなのか！ ってギモンに思えてくるでしょ。

季節はずれなのに、サンタ論議に沸きましたね。そのなかで、子供に嘘をつくって？ という問いかけまでしっかり射程に入ってきたのが、コメント欄の達成として評価できる

と思います。

作品に端を発した問いかけをコメント陣がころがして、さらに太らせてゆく サンタさんにちなんで雪だるま現象と命名します。いわゆるひとつの理想型。

千羽鶴

最初は全員 = 強者のための嘘の鶴と見せかけて、最後で、じつは不登校の友人を励ますための鶴だった(らしい)とチェンジ。よって、弱者宛ての嘘と分類してみました。

で、不登校少女が鶴を折ったのか鶴をもらったのか? 両方! に一票。

うーん、でも仄めかしが遠すぎて、むずかしかったです。さいご、いきなり場面転換で種明かしでは「私」の存在が浮いてしまうので、香奈の言動から、少しずつ「私」が真相に気づいてゆくという流れにしたかったところ。

つまりは、神の視点を持ち込まず、作品の中だけで謎かけと種明かしを完結させるべき、ということです。たとえば、「夢を見た少年のお話」&「嘘をついた少年のお話」が、徹底して一人称で語ることで、ただいま実験中の試みがそれに該当するでしょうか。

パート2 嘘をつかれる

気づいたら、嘘がつきつけられている。そんな理不尽を仕掛けた主は?

嘘をついた 相手 の正体を基準に分類してみます。

1. 神様に騙された

世界全体が嘘だなんて、神様、ヒドい。抗えない悔しさに沈むのでしょうか。10 作品エントリー。

待つ雪草

この嘘でできた世界で悲しみにくれながら生きていく つぶやき、あきらめ、むなしさ、それでも歯車を回し続ける。

とても正直な胸中吐露で、「分かります」と共感はもらえても、読者のなかにすでにあるものを再確認するにとどまり、新しい何かを提示するところまでは行けなかった感。

ゆいいつ具体的なフレーズだったタイトルに、ささやかな希望がこめられていると読んでみたのですが。

真実と嘘

ほんとうにあなたはしんじつですか？

問いかけスタイルで迫ります。掘り下げが欲しい、はその通りですが、でもコメントでそれぞれの経験が吐露されて、みんなの共通イメージが Matrix だと判明したりしたのは、この作品がもたらしてくれた収穫ですよ。

虚飾症。

世界は紙芝居のようなものだ　だから台本通りに演じる私はただの人形。

これも同じく既成の枠組みに乗ってはいいるのですが、破恋という目前の具体的なできごとが描かれているので、より具体的な感興を誘ってくれて、そこが良さと読みました。

正しい世界

嘘だらけのこの街で純粹に生きる　おセンチ少女さん、その2といったところでしょうか。麦藁帽子が演出の小道具。

「そんなことはどうでもいい」以下の4行が、

- ・リクツっぽくて前半の詩の雰囲気とそぐわない
- ・どうでもいい、と投げやりなのは、せっかくつきあってくれた読者に非礼
- ・「あるいは」とラストで新視点を提示するのは、遅すぎだし、言ってることも意味不明。「限界」が「廻る」って？

の3点において疑問でした。いかがでしょうか。

かの地震を受けて

テレビの向こうで起きている悲劇は自分にとってはニセモノでしかない。じゃあ、どうしたら痛みを共有できるのか？

何かしたい、という苛立ちが形になっていましたが、やはり読後感の形容詞は「ぐだぐだ」になってしまいますね。

これを書くことで、自らの内なる苦しみが少し和らいだのか、逆にどす黒さを増したのかを作者さんに伺ってみたいところ。それが、この文章の執筆意図になるはずだから。

東京電力からのお知らせ

テレビの向こうから、もう一つ地震情報が届きました。

東京電力さんの苦境に大学生も協力！ そっちはいいとしても、肥満者外出制限なんて、差別と怒られないのかしらん。

こういうのはマジメくさってたんたと語れば語るほど、おもしろい。時事ネタもあしらって、なかなかでした。

ただ、どーんと空いた余白は、どんな意図だったんでしょう？

叫び

ここは夢喰い映画館。あなたの悪夢がスクリーンに映ります！ ということでもないのかな。

新書の怪談として作れそうな設定でしたが。何だか血のバイオレンスだけが前面に噴き出て、設定のつくりこみが置き去りになってしまった感。

テレビ、映画と来て、お次は。

偽りの中心で、ただ一つ

世界は電腦紙芝居。神様神様パソコンの神様、どうかあの娘との恋、成就させてくださいな

これはおみごと。次のお題を先取りする勢いで、古典的な 世界 = 嘘 説を、きっちり電子世界に移植していただきました。3対4の窓越しの写像.....領域は、6桁の粒子により構築.....聴覚は、16の仮想楽器を捉え.....視界は、3色の光に満ちている と畳みかける硬質の言葉の鋭い輪郭線にうっとりです。

タグの最大活用はワザありだったけど、 が目立ちすぎたのが残念。

910号室の8人

これも世界全体が嘘モノ??

あまりに謎なので、作者さんの御登場をつつしんでお待ち申し上げます。

さいごは神様も少し反省。嘘をつくのをやめて、嘘つきを懲らしめてくださるようです。

天狗

神様のおはからいで、和製の天狗が、洋モノのピノキオに変化するまで。

究極の短さの余白に、そんなふわっとした飛翔を仕込んだところがワザと言えばワザで

すが、1行目の「政治家や有名な会社の社長は」が陳腐。もう少し一般化して警句仕立てにしたかった。

2. 恋人に騙された

うう、それって時として神様に騙されるよりもツライかも。6作品エントリー。

ある春の日に

まずは軽～く。ついてもらって、うれしい嘘。

転校するの、ううん、嘘なの。日常に起こる小波乱。

たしかにかわいい。だから、みんな全力で、せっかくのチャンスを利用しろ！モードでしたね。Begonianさんの妄想展開に私も一票。ただしR18の範囲内をお願いします。

変わりゆくもの

つぎは淡～く。嘘だったなんて言いたくない。

幼なじみ。気づけば、彼は遠く。

全体がおぼろに霞むなか、赤い絹糸が、うすれ、ほつれ、風に消えゆく描写が、そこだけくっきりスポットがあたったようにあざやかで、うまいなあ。

きっと女性作者さんですね！（え

君の嘘

そろそろシリアス。嘘だって言ってよ。

軽く入った前半から、暗転して白い布の最終シーンへ。選び抜かれたシンプルな言葉たちに、悲しみが際立ちます。

ただ、構成も言葉選びもみごとだと思うけれど、形の整いが優先されて、ツクリモノ感が出てきてしまったところが、難と言えれば難か。

たとえば終わりから2行目

泣いたりしない ムシしたりしない 怒ったりしないから

ひとつひとつがエピソードに対応しているのですが、永訣の場面で、そんなに理路整然と語れるものなのかなあ、と違和感を抱いた次第です。

嘘だって言って

実らぬ恋。分かっているけれど、ひとときの夢を見させてほしい。どうか。

いやもう、実体験ベースの強みには勝てません。

殺したり埋めたり焼いたりしないと愛を語れないこの無骨な集団に、恋の魔法の唱え方、教えてやってくださいまし。

穢れなき嘘は炎の中に消え……

で、この作品につなげるのは酷？

ストーリーの組み立てはおよそのところは分かりますし、二つの嘘を対置するいいストーリーだと思うのですが、それをつなぐのに、少年少女に説明セリフをしゃべらせたり、夢で過去をフラッシュバックさせたり、作者さんが大いそがしのように見えてしまうので、観客も興醒めしてしまいます。

ラストシーンが秀逸なので、そこを起点に書き始めて、全体を再構成するとシンプルな佳品になるのでは。

再会

もうっ、お兄ちゃんったら、誰に対して「嘘」とかつぶやいてるわけ？ 分類に困るじゃない！

この「嘘」は「ラッキー」と同義かなと思いつつ読んだまくあシリーズ第2作です。

結界なのに終電ですか、そうですか。日常ときどき非日常。だから、御都合主義の展開でも乗りやすいでしょ、という作戦なのかも。

そして気づく重大事。

嘘という「絆」で恋愛を語った6作品、なぜに熱愛まっただなか、がないのだろう？

3. 仲間に騙された

家族とか友達とか、無条件に味方になってくれるはずの人に裏切られたら、これもなかなかツライです。5作品エントリー。

嘘も小便、三段跳び

敬老の日も近いので、しづおばあちゃんから。

イタチがジャマしたかな？ いきなり、餅盗み喰いの場面からのほうが、すっきりはしたか、と思います。イタチどしとんにやる？ と、みんな気になってしまうので。

困ってみたり、困っていることを楽しんでみたり。孫から祖母への、そしておそらくは祖母から孫への、そんな日々の交歓。イタチと方言のおかげで、うそくさいキレイゴトではなく仕上がりました。

なーんかミヨ～なんが紛れとるなあ、と読者陣が思ってくれば勝ち、でしょうか。

ベストセラーは心の中に

負けじと、おじいちゃんも登場。

開戦秘話といった趣で、そこは調査の成果が出ていたようですが、ダ・ヴィンチ・コードから助走を始めなくても、と思います。

別に「ベストセラー」という要素以外に、おじいちゃんの話に絡んでくる要素はないわけで、この本を知ってる人には物足りなく、知らない人には疎外感を感じさせるというハンパな女装、もとい助走に終わったかな、と。

どれが本当に真実なのか…ある少女の証言

舞台は家族。でも、真相は明かされずに終わる。

あまりに凄惨でなまなましい現実の重みを、この小さな文章では受けとめきれなかった感。

実際の事件を題材にするなら、概略を紹介しつつ、自分の知見を披露するという、いわば正統派スタイルで行くのがオススメです。

家族を経て、お次は友達へ。

かくれんぼ

夕闇に取り残されて 鬼もなく

さあ、この「なく」は「泣く」でしょうか「無く」でしょうか？ なんてね。

みんなが怖い！ とおののくわりに、どんな恐さなのかが、よく見えません。「正直者の亡き声」という表現も妙で、正直者さんが亡くなってるんなら、声が出るはずもなく。忍び声のこと？

嘘つき

取材して回っているのはマスコミ関係者、でしょうかね。

悪徳不動産屋の侵入を水際で食い止めた美談、と、あそさんのコメントを支えにおぼろげにストーリーが見えたのですが、ぼかし過ぎでしょう。

口調や文体は OK ですが、こういうナゾ解きは、だんだん核心が見えてくるのが読者の楽しみになるので、証言の順番や内容にも、まだ工夫の余地がありそうです。おかあさんの証言がラストのほうが良かったのでは。

4. 自分自身に騙された

自分で自分に嘘をつく。そんな自分に気づいたときは、おもいきり凹みます。4 作品エントリー。

ウソつき男に悩む男

みなさんが自分の場合は、と重ねながら読んだのではないのでしょうか。その点で、共感力大。「彼」と少し引いた視点から描写しているのも、自分をなるべく客観視しようとする試みと読みました。

答えのない問いを繰り返して、少しずつ自分の中の何かが変わってゆく。そこは伝わってきたのですが、ラストで「おれはウソつきやろうさ」と強い言葉を放ってしまったのが、何だか思考放棄の開き直りに聞こえて、それまでの誠実さが消えてしまったようで残念でした。

虚空の国のアリス Alice in hollow heaven

枯れ葉舞う街。「この世界は、君が君自身についた嘘なんだ」。そこが終わる。未来が始まる。

音も光景もくっきり見せて魅力的なのに、解説者役の少年がしゃべり過ぎで興醒めです。

光景で見せて、「私」自身に考えさせて、あ、そうなのかと読者も自力で結論にたどりつけるように運んでゆけば、もっと魅力的になるのに。それこそ、「アリス」という魔法の固有名詞の力なんか借りないで済むくらいに。

指切り拳万

大きくなって高校生。進路に悩むお年頃。

同じように悩みつつある友人と、会話しつつ、だんだん自分が見えてくる。「そう、僕は自分に嘘をつき続けていたんだよ」と。

正直さが、しっかり伝わって好感を誘います。

げんまん、って漢字で書くと、こんなにものものしい字なんですね。ひとつ勉強。

西東京都大会決勝

さいごは、爽やかスポーツもの。

「甲子園が俺の夢だなんて嘘だ。」とあるので、いちおう自分への嘘コーナーに配置しましたが、そんなこじつけは、この際どうでもよくて。

ドラマの迫力が、びしびし伝わってきます。やっぱり高校球児は永遠の定番。

その定番を細部まで行き届いた文章力でしっかり構築して、大ファールのくだりなど、ほんと描写がすばらしい。ここで盛り上がりただけに、そのあと苦心してお題につなげようとした独白が、ちょっとトーンダウンの憾みがありました。

5. 作者さんに騙された

いよいよラストは、なんと作者さんが嘘つき役に回ります。油断も隙もありゃしない!? いや、それこそ文章道の醍醐味か。3作品エントリー。

嘘ゲーム

全員が犯人 オリент急行? うーむ。

作者コメントを待って完結するのでしょうか。「嘘つきは0人、犯人は全員、果たしてどんな事件でしょう」としたら、というカケラさんの提案が要点を衝いているようにも見えたのですが、さて?。

論理パズル(正直者と嘘つきの兄弟編)

こちらは、ほら、こうやって解くんですよ、ととても親切な作者さん。

ワガママ言えば、地道な解とスマートな解と2パターン見せてくれると、なるほど奥が深いんだあと、より魅力をアピールできたのでは。

天保年間嘘八百

騙されかけましたね、かの、正統派コラムニストさんまで。成功成功 といったところでしょうか。

噺家（はなしか）って、見てきたように嘘をつくのが仕事なわけで、歴史家の仕事も限りなくそれに近いわけで、思いつきの冗談を書き連ねているようにみせて、世に流通しているあまたの「事実」も、じつはこれと大差ないんでないの？ というのが隠しテーマかな、と読みました。深い！

地味ながら、これを推したかたのほとんどは首位に挙げていて、ツボに入れば強いという投票結果でしたね。銅メダル、おめでとう！